



Governor's Monthly Communication



国際ロータリー 第2630地区

2016-2017年度 ガバナー 剣田 廣喜

ガバナー事務所

〒506-0011 岐阜県高山市本町1-2 飛騨信用組合 本町サテライト出張所3階

TEL 0577-33-2630 FAX 0577-33-2635 URL <http://www.rid2630.org/> E-mail 1617@rid2630.org



Contents

- 剣田DGメッセージ  
・一年間本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。
- What's Rotary
- 2017-18年度 地区研修協議会
- 2016-17年度 クラブ会長挨拶
- ガバナー月信 総表紙絵
- 文庫通信・米山梅吉記念館便り
- 国際ロータリー 第2630地区 出席報告
- 国際ロータリー 第2630地区 会員動静
- 鈴鹿・亀山グループロータリーデー開催

第2630地区のHPは  
スマートフォンでも  
ご覧いただけます





## 一年間、本当にありがとうございました。 心から感謝申し上げます。

2016-17年度  
RI第2630地区ガバナー

劔田 廣喜

皆さんこんにちは。拙い話しでしたが、皆さんに発信し、私の思いや月間に囚んだ色々な話を載せてまいりましたが、いよいよ最終号になりました。クラブ会長・幹事をはじめとし地区会員の皆様方の温かいご支援と、パストガバナー、諸先輩の皆様のご指導、そして地区チームの皆さん、地区スタッフの皆さん、事務局の皆さんのご協力でガバナー職を全うできましたこと、心より感謝申し上げます。本当に有難うございました。あっという間に過ぎ去った過去の思い出が、今私の頭の中を走馬灯の様に駆け巡っています。

時が許し、人がなびき、運が味方する、この3つの条件が揃わなければガバナーを任命されることは有りません。見えない力によって、3条件が揃い思いがけなくガバナーノミネーデジグネートを拝命しました。その瞬間、全身雷に打たれたような衝撃を覚えました。そこからが、私のような者でいいのか、私のような者がガバナーを務められるのかの葛藤が始まります。夜中に起きて一人悶々とする時間が続きます。出来るものなら、逃げ出したいと本当に思いました。其れを救ってくれたのは、日本で二番目のRI会長向笠廣次氏の「ガバナーをやってガバナーになる」という言葉です。私のような者でもガバナー職を務めていれば当地区歴代のガバナーのようになれるのかもしれないという微かな光が見えてきました。そして、ネガティブな気持ちが完全に吹っ切れたのは、国際協議会です。

540名の次期地区ガバナーが配偶者を同伴して参加し、1週間にわたって研修を受ける事により同期のガバナー・エレクトと仲間意識が醸成され、悩み、問題点を共有し、適確なアドバイスを頂いた事により2016～2017年度の地区運営への意欲を高める事が出来、帰って参りました。国際協議会から帰るとすぐに次年度の公式行事が始まりますので、忙しい日の連続で、積極的にならざるを得ませんでした。今考えますと、地区チーム研修セミナーから地区研修協議会までの一連の研修期間が経験も乏しく一番大変な時期だったと思います。それだけに伊藤地区代表幹事をはじめ地区幹事の皆様や、ホームクラブである高山中央RCには大変献身的なご尽力を頂き感謝の言葉もありません。

ガバナー年度に入りますと、決められたルールに乗ったという感じでここまで、順調に来られたと思っています。ここでは、健康であること、家族の理解、協力に感謝をしております。

昨年7月から始まりました前半期の最大行事でありますガバナー公式訪問では、各グループガバナー補佐のご指導の下、各クラブに合同での公式訪問例会を開催させていただきました。公式訪問の折には各クラブとも大変な歓迎を受け、感謝申し上げます。又、会長幹事の皆様との懇談では、各クラブの現状をご報告いただき、又地区運営に対するご要望等忌憚ないご意見を賜わり、大変参考にな

りました。また、赤のテーマネクタイを身につけた会長様も多く感激をしたことを覚えています。

地区最大の行事であります地区大会が櫻井権司RI会長代理の卓越したご指導の下無事、有意義に終えることができました。関係各クラブ、そしてご参加くださいました皆様のお力添えの賜物と心より御礼申し上げます。

私は、地区大会に、ご参加いただいたロータリアンが地区大会に来てよかった、ロータリアンでよかった、と思っただけの様な感動を持っていただく事を目標としてまいりました。お蔭様で 大会終了後、各クラブの人から大変素晴らしい大会であったとお褒めの言葉を数多くいただき、私にとりましても本当に印象に成る大会であり、忘れることのできない大会になりました。私の無理難題をすべて受け入れ成功裏に導いて頂きました島実行委員長はじめ地区大会実行委員会の皆様に改めて感謝を申し上げます。

ガバナー補佐が主催する地区行事IM。地区運営のかぎは、いかにガバナー補佐から支援を得られるかがポイントです。ロータリーとは最終的には人間関係、義理人情の貸し借りの世界だと言われています。自分が大きな役を頂いた時、どれだけの人が協力してくれるか、日々の人間関係にかかっています。義理人情なんていいますと別の世界の様に思われますが、日本を代表する故佐藤千寿パストガバナーは、義理人情とは思いやりの心でありそれを西洋風におしゃれにしたのがロータリーだと言われました。私はこの一年ガバナー補佐に大変お世話になるわけです。そのお返しをしなければなりません。それは、IMで主役になっていただく事と考え、IMを開催しました12人のガバナー補佐はそれぞれ、特徴ある有意義なIMにさせていただいた

ことに感謝申し上げます。

豊かなスキル、経験、熱意を持つ地区委員会委員長は、地区目標の達成に向けてガバナーを支え、ロータリーの目的を推進するために、クラブを支援していただき、地区の行事にも積極的に参加して頂きました。皆様の2630地区を想う情熱に頭が下がります。

こうして振り返ってみますと、ガバナーがたくさんの人に支えられてきたかがよくわかります。本当に感謝の言葉だけしかありません。

私は、この3年間、愚直に一所(ロータリー)懸命、力を抜かずにやってきました。ロータリー財団の創始者アーチ・クランプは「寝てもさめてもロータリー」の人間であると言われていました。私もまさに“**thinks Rotary, sleeps Rotary, and dreams Rotary**”の3年間でした。それは、ガバナーを務めるということは、ロータリー人生を歩むことを選択したと考えたからです。と言ってもガバナーとして2630地区のために何が出来たか考えると、「日暮れて道遠し」の感が否めないのが事実です。出来なかったこと、遣り残したことは、これまで適切にご指導を頂きました、当地区パストガバナーの皆様のように **I risk my life on Rotary**の心でいく所存です。

「**One profits most who attends most**」[最も出席するもの最も報いられる]ロータリーの基本は例会です。職業奉仕を中核とした人づくりのロータリーをどうか皆様方の熱い善意に基づいて、自由に、自主的に奉仕活動を展開していただきたいと思います。皆様方の会社やロータリークラブが益々発展されますことを祈念申し上げ、感謝の言葉とさせていただきます。

一年間本当に有り難うございました。

## What's Rotary



### 「ロータリー」の目指すもの

RI第2630地区ガバナーエレクト  
田山 雅敏（上野東RC）

劔田ガバナー年度最後の6月号ということで、次年度の2017-18年度に向けて「ロータリー」の目指すものというタイトルで今後の在り方を考えてみたいと思います。

2016年の規定審議会での決定で、各クラブの運営に大幅な柔軟性を持つことが可能となりました。無論、柔軟性を活用しなくても採用しなくてもクラブが順調に行っていれば何も問題はありません。多くのクラブが停滞気味と言われる状況下、クラブの在り方に多様性を持たせることや、会員資格にある程度の柔軟性を持たせることは、今後の強いクラブ作りを行っていく上で指標となっていくことでしょう。更に、男女のバランス是正、クラブ会員の平均年齢を下げるのが具体的な目標として求められます。変革を管理して強いクラブを作ることが大切な時期となってきました。従い、多様化を重視するクラブでは魅力を感じるでしょうし、今の時代の新しい働き方に対応した職業人をより取り込む姿勢も大切です。時代に合ったクラブ作りが重要です。活性化したクラブには人が集まります。そして進化した自分を実感できるクラブになれば最高と思います。それをできるようになる為に“創造”が必要であり、「未来を創造しよう」という私の次年度のテーマはこれにも沿ったものなのです。

会員増強について少しお話しします。一応居心地のよい会員数の増強目標(純増3%)を私は掲げました。でも本当は、それぞれのクラブが本来あるべき人数を目標としてほしいのです。これはクラブの会長自らが考え、1年間自ら率先して行動してほしいと思います。ロータリー活動の中で、会員増強だけは時の会長が自らその気にならなくてはなかなか会員には伝わりません。会長自らが会員に、年度初めに会員増強への熱い思いを会長の時間に語ってください。私の年度の会員増強は、新会員をロータリーに定着できるためのレクチャーも考えています。新会員の退会防止も兼ね、2018年の初めごろに入会間もない新会員に参加していただく、“WHAT'S ROTARY”を企画したいと思っています。新会員が増え、新しい仲間が増えることで、ロータリーは強くなります。そして会員基盤の向上を通し、クラブはより活性化していきます。

余談ですが、人口1万人あたりロータリアンの数が最も多いのは山形県で、なんと14人です。我が2630地区は、三重・岐阜の両県合わせて380万人、ロータリアンは3,130名ですので、人口1万人あたり8人です。10万都市にお住まいなら、平均80人の会員がいることとなります。山形を目標とするならあと60人増員の可能性があるということです。40代、50代を中心にまだまだ人材はいると思います。世界では女性会員が20%、我が2630地区ではわずか4%です。

クラブ運営に大幅な柔軟性が取り入れられたことにより、新しい時代に入ったと考えられます。クラブが決定できる柔軟性が多ければ多いほど、クラブに活気が生まれ、成長することが、既にこれまでの試験的プログラムの実施で実証されています。但し、クラブ細則を従来通り何の変更も加えないことを選択するクラブは、従来と同じ方法を取り続けることができます。

私のガバナー年度は、クラブ会長を中心にご自分のクラブの点検を行い、よりよい方向にクラブを活性化する契機的一年としましょう。その為に、具体的に出来ることをどんどん進めていきましょう。「MAKING A DIFFERENCE」ロータリー：変化をもたらす が今年のRIテーマです。

What's Rotaryコーナーへのみなさまのご投稿をお待ちしております。

## 2017-18年度 地区研修協議会

日時：2017年4月16日

会場：伊賀市文化会館・ヒルホテルサンピア伊賀

ホストクラブ：上野東RC

「地区活動方針テーマ」

『未来を創造しよう』

…… 10年後のロータリーは ……



ロータリー：  
変化をもたらす

### 地区目標

1. 変化するロータリーを考える（クラブの刷新性と柔軟性を育てる）
2. RI 会長賞へ多くのクラブの挑戦（挑戦はクラブ強化につながる）
3. 財団年次寄附を確実に増やす（前年度対比MIN. 5%増）
4. 会員純増3%を目指す
5. グローバル補助金をトライする

### クラブ目標：RI会長賞に挑戦しよう！

1. 会員増強によるクラブの更なる活性化
2. 地域への貢献の在り方
3. 財団への寄附（会員の意識向上）
4. 10年後のクラブは？（クラブ運営を考える）
5. 公共イメージと認知度をあげる



# 一年間のロータリー活動を振り返って



**一年を振り返って**  
桑名ロータリークラブ  
会長 伊藤 巧

年度初めの例会で、私は会員の皆さんがお元気で例会に出席して下さることを一番の喜びとする、と挨拶しました。会員増強も勿論大切ですが、会員の皆さんのご健勝以上のものはない、と確信しているからです。

当クラブは青少年育成の一助として高校生への奨学金授与と桑名RC旗争奪児童軟式野球大会を長年続けています。困窮の中、親を気遣い夢に向かう生徒や練習にひたむきな少年少女の姿に接すると、もっと若い世代の力にならねば、と思うばかりです。わが町桑名はお木曳やジュニアサミット、石取祭ユネスコ無形文化遺産登録、観光事業：灯街道・桑名宿で賑わっています。地域あつての生業です。地元の人々に喜ばれるRCでありたいものです。



**一年間のロータリー活動を振り返って**  
桑名西ロータリークラブ  
会長 矢後 義則

昨年3月の「PETS」から始まり、新年度の準備が本格的に動き出しました。今年度の劔田ガバナーのテーマ「最も出席するもの最も報いられる」を念頭におき、当クラブのテーマとして、大切にしよう「会員の和」を掲げました。会員一人ひとりが出席を心掛け、和を持って活動に協力いただき、一年が経とうとしております。

当クラブの継続事業として、本年第29回を迎えた新進音楽家奨励賞は年々浸透してきており、今までに受賞された方々の活躍に喜びを感じます。この先も続けていきたいと思えます。また、盲導犬育成事業の街頭募金、環境保全による清掃など地域社会への奉仕事業を実施して参りました。

次年度は当クラブ40周年を迎えます。一人でも多くの新会員を迎えることができると思っておりますが、期首と変わらず増強に至っておりません。残りの期間に皆様の力をお借りし増強に努めたいと思っております。

この一年、クラブ会員はじめ多くの方々に支えられクラブ会長を務めることができましたことに感謝申し上げます。



**一年間のロータリー活動を振り返って**  
桑名中央ロータリークラブ  
会長 川北 宗弘

今年度会長を拝命させて頂き 漸く一年が過ぎようとしています。第一回会長挨拶の中で 今年の言葉として「至誠惻怛」を發表しました。これは 誠意を持って人に尽くし人の痛みや苦しみを思いやることで 物事を上手く進めるという意味です。クラブ内の雰囲気は大変良くなりました。

会員増強と退会防止が叫ばれる中 今年は1名増員、2名退会となりました。どの様に例会をすれば 会員が喜んで頂けるか考えて続けた一年でした。会員も少なくなり家族会の人數も減少してきましたが、今年の第2回目の家族会は 夫人、子供、孫も参加してもらい50名で親睦会が行われ 大変皆様に喜んで頂きました。先ずはクラブ奉仕が大切で有ると実感しました。又ガバナーも各クラブに自治権が有るから物事は各々で決めれば良いと言われました。そこでクラブの運営につきましても来期に向けて例会の方法、増強の方法などをまとめました。

来期に引き継いで頂きたいと思えます。会長としての一年は終わりますが、今後も協力していきたいと思えます。



**一年間のロータリー活動を振り返って**  
桑名北ロータリークラブ  
会長 松宮 竹弥

本年度の当クラブは自己を楽しむと共に、他人の幸せを実践するため会長テーマとして「自他共楽」を掲げました。心地よい例会を行うために全員参加型での運営を行うことにより外部講師に頼らず、各委員会による手作りの卓話を行うことで結束が高まると共に出席率も向上しました。又、ロータリーへの理解の再認識ができたと思われまふ。会員増強については若い会員の事業が順調であり、職業を通じ社会に貢献し、ロータリアンとして充実している会員の啓発により、今後を考慮し若い層をターゲットとした結果、入会者は2名でした。

本年はガバナー補佐の選出もあり、桑員グループのご協力を戴きIMを開催いたしました。県知事の講演や、三重大副学長のコーディネイトによる各市長、町長をパネラーに迎え一般の市民の方々も交えたポスト・サミットの活かし方をテーマとしたパネルディスカッションを行いました。事業全体に関しては、幹事、役員、理事、会員皆さんのおかげで無事終えられることに感謝します。



**一年間を振り返って思うこと**  
四日市ロータリークラブ  
会長 佐藤 純

この度、四日市RC第73代会長を拝命し、クラブ運営を担う中で、世の中には数多くの団体がありますが、奉仕ということを考えた時に、私たちのRCは、素晴らしい団体の一つではないかということを感じてきたことでもあります。

私たちは、仕事を通してロータリーの奉仕の理念を基に地域社会に向け何か良いことをして、貢献することが可能です。友情あふれる例会を通じて、ロータリアンがお互いに切磋琢磨し、自己研鑽をして奉仕の心を高め、自分の職場に持ち帰ると同時に、それを自分が属する業界に広め、地域全体の職場モラルを高めることができます。このようなことから、私は今年1年、会員の皆様感動する、そして全員の皆様に満足させるクラブ運営を目標にやってみてまいりました。会員皆様には、「ロータリーに入って良かった」という感動を少しでも持って頂けたなら幸せに思いますとともにご協力を心より感謝いたします。



**RIの根本を覆すこの時期に**  
四日市北ロータリークラブ  
会長 伊藤 竜児

今期は、RIの方針が大きく変わり週一の例会をしなくても良い、また、お金さえ払えばeクラブ会員としてのロータリアンになれるなど根本を覆すまったく本質から逸脱した決定がなされた事は非常に遺憾であります。しかしながら当クラブでは、58年の伝統とクラブの誇りを重んじ、従来通り週一例会、当クラブの骨子であります職業奉仕、青少年奉仕などの活動を今後も継承すると云う方針を全員一致で決議できました事が一番の大きな喜びです。また、会員の皆様のご協力の基、会員増強も順調に推移しております。

今期、私の目的である、真実かどうか？みんなに公平か？好意と友情を深めるか？みんなのためになるかどうか？この4つのテストの基本に立ち返り遂行できた事は、会員皆様のご協力の賜物と深く感謝すると共に、何事にもブレない当クラブ会員を誇りに思います。ありがとうございました。



### 一年間のロータリー活動を振り返って

四日市西ロータリークラブ  
会長 萩 文三男

本年度、四日市西ロータリークラブ会長職を務めさせて頂き、早一年が過ぎようとしております。思い起こせば、7月1日第一例会を迎えガバナー信条であります「最も出席するもの最も報いられる」を念頭に、楽しい例会運営によるホーム例会出席率向上を目指し、我武者羅に突っ走ってきた一年であったかのように思います。9月10日には四日市グループガバナー公式訪問5クラブ合同例会及びIM開催に当たり、当クラブがホストとし主管させて頂き、175名の登録を頂きましたこと厚く御礼申し上げます。合同例会では、鶴田ガバナーの卓話に続き会員の30年以上100%出席表彰として35歳以下正会員への激励が執り行われました。またIMにおきましては、5クラブ会長による自クラブの職業奉仕活動の発表に引き続き、鈴木英歌三重県知事の講演と非常に充実した合同例会及びIMでありました。職業奉仕活動としましては10月と1月開催の職場訪問例会で、生活環境の勉強と地場産業である伊勢茶の会社訪問をさせて頂きました。社会奉仕活動では、継続事業でありますエスバランス四日市の子供達への一日里親支援、こどもの日慰問を執り行って参りました。また国際奉仕活動では、3年ぶりに国際青少年交換学生の派遣と受入事業をホストファミリーのご協力の下、無事終えることができ、6月に派遣・受入とも帰国の途につく予定であります。

こうして一年間を振り返ってみますと、ロータリーの奉仕活動を一番楽しく過ごさせて頂いたのは私自身であったかのように思われます。結びに、四日市西ロータリークラブ67名の全会員に感謝を申し上げ寄稿とさせて頂きます。一年間ご指導頂きました誠にありがとうございます。



### 一年間のロータリー活動を振り返って

四日市南ロータリークラブ  
会長 伊藤 友一

1.会長エレクトに選任されてから、会長年度が始まるまでは、長く感じましたが、会長年度が始まると、次々と行事、検討事項、理事会事項等への対応に追われ、気がつけば、残任期間も3ヶ月足らずを残す所まで、辿り着きました。

2.多くの課題を残したまま、次期会長に引き継ぐことになりそうなことは、心苦しくもありますが、規定審議会以降、国際ロータリーは、大きな変動期を迎え、当クラブの対応を考えるだけで、精一杯でありました。ガバナーの熱い思いを、当クラブの会員に十分伝えられたかと反省しつつ、最後まで、任務を全うしたいと頑張っております。



### 一年間のロータリー活動を振り返って

四日市東ロータリークラブ  
会長 福田 一夫

本年度が始まる前にRIの方針変更がございました。

鶴田ガバナーの「出席するもの最も報いられる」のスローガンを礎としたしまして当クラブも例会出席を第一としてこの一年間ロータリー活動を行ってまいりました。当クラブの会員にも理解をいただきまして、例会出席率100%を達成できる見込みです。当クラブでは継続事業として、知的障害者を対象としたクルージング、公園の清掃事業を行ってまいりましたが、こちらの方も無事に遂行することが出来ました。無難にこの一年を乗り切ることが出来たというほっとした気持ちがありますが、今後はさらに各クラブの主体性が求められるであろうと痛感させられる一年でもございました。

私個人も大変貴重な経験をさせていただいたうえ、自分自身の財産として得たものも多く有ったと感じています。これらを活用して今後のロータリー活動や当クラブの発展に少しでも寄与出来ればと考えております。



### 一年間のロータリー活動を振り返って

鈴鹿ロータリークラブ  
会長 瀬尾 勇次

鈴鹿ロータリークラブの良き伝統と新たな活力を融合し明るく楽しい活動を目指し、全会員と共に当初の目的に向かって邁進してまいりました。結果概要を記述します。

- ①全会員が会員増強維持の意識をもち、純増4名(女性新入会員2名含む)合計62名(男性53名、女性9名)となり、かつ平均年齢の若返りを図ることができました。
- ②親睦委員会の粋な計らいで、今までにない充実した会員旅行・家族親睦会となりました。
- ③社会奉仕活動として、鈴鹿市へ防災ホイッスルの贈呈(本年度1,900個)を行い、7年目を継続しました。(7年延べ贈呈数1万6,700個)
- ④鈴鹿桜まつりの日をロータリーデーと定め、飯野高校インターアクトと協力し、ポリオ撲滅の募金活動を行いました。(鈴鹿・亀山グループ共同事業)
- ⑤青少年奉仕活動として、おじさん先生の事業を継続しました。
- ⑥ロータリー財団補助金事業の推進(申請書の作成及び提出)

全会員の皆様のご理解ご協力いただき心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



### 一年間のロータリー活動を振り返りまして

鈴鹿西ロータリークラブ  
会長 世古口 弘子

初の女性会長であり、加齢な私がこの一年間、このような大役を全うさせて頂きましたのは、会員の皆様はじめ、ご協力いただきましたすべての皆様のお陰でございます。心より感謝を申し上げます。

RI会長の精神の下、奉仕の心を大事にし、この一年間のテーマを「心の調和」として活動して参りました。心ゆたかに奉仕の心を持ち、仲間を大切に心をついにし、共に活動する…会員の皆様あつてのクラブでございます。

相撲プロジェクトから始まり、家族例会、鈴鹿市長、名張市長、国会議員夫人、知事夫人からの卓話など、女性ならではの色を出すことが出来たのではないかと自負をしております。

会員の皆様、一年間ご協力を賜り、誠にありがとうございます。



### 一年間のロータリー活動を振り返って

亀山ロータリークラブ  
会長 川瀬 宏

今年度もあともわずかになりロータリー活動の一年を振り返り、どういった活動をしてきたのだろうかと思いつくと、まず前半は、十一月の亀山ロータリークラブ創立25周年記念式典の開催、記念事業の一つとして亀山市へのAEDの贈呈を行い、また、亀山市教育委員会の亀山氏にテーマ「亀山市のいいところ」についてのご講演をいただき、大変参考にさせて頂きました。年度後半に入ってから、一月末には亀山大市にて亀山高校インターアクトクラブと共にポリオ撲滅の募金活動を行い、ある一定の成果をあげられたと思います。

これから年度末にかけては、社会奉仕で薬物乱用防止「けしきクリーンアップ運動」への参加、亀山公園の清掃奉仕活動(インターアクトクラブと共に)を行う予定です。

一年間の皆様のご協力に感謝いたします。



### 一年間のロータリー活動を振り返って

鈴鹿シティロータリークラブ  
会長 櫛田 浩哉

鈴鹿シティRCは来年度、創立20周年という、人という成人を迎え、大人として歩み出す節目の年度となります。そんな年度に繋げる一年であるということで本年度は「What's MY ROTARY」をテーマに掲げさせて頂きました。

例会への出席、事業への参加を通じて、ロータリーの理念や、仕組みを会員の皆さんと共に学び理解し、可能性を考えて、自分にとってロータリーとは何か?そして自らがロータリアンである意義を見いだしていただければという想いで会長の役割を勤めさせて頂きました。

今回は我がクラブから青木AGを輩出し、IMを実施してスタート致しました。交換留学生をカナダから迎え、当クラブからは会員の御子息をカナダに派遣しての国際交流も実施しました。その他、財団の地区補助金を生かしての社会奉仕事業、青少年育成事業としての「おじさん先生」、ロータリーデーにおけるポリオ撲滅募金等、数多くの事業を行いました。常に多数の会員が積極的に参加し協力いただきました。

最後になりますが、水谷幹事を初めとする、会員の皆様のお支えに深く感謝いたします。本当に有難うございました。

# 2016-17年度 クラブ会長挨拶



## 一年間のロータリー活動を振り返って

津ロータリークラブ  
会長 三藤 治喜

対外的には出来るだけ多くの奉仕事業としっかりした広報、内部的には充実した親睦とバランスの良い会員増強を計画し実践しました。歴年度の平均値をぶれさせないよう気を付けたつもりですが、やりすぎた感を反省しています。社会奉仕ではスペシャルオリンピックス日本三重へ協力、環境保全では桜の植樹をし、青少年奉仕では小学生から高校生まで交流と図書贈呈を行いました。夜間例会の無い月にファイアーサイドミーティングを行い、毎回テーマをもって会員親睦を図りました。また、転勤の方が多いクラブ特性から、過去10年間に転勤で卒業された方をお招きしてOB・OG会を開きました。全ては会員一人一人の奉仕の精神による活躍が、全体に行き渡った一年間でした。



## 2016~17年度の活動を振り返って

上野ロータリークラブ  
会長 市川 隆成

思えば、去年3月中旬、氷点下のエレクト研修で、会長職としてのスイッチを入れて頂き、春の嵐の中の地区研修会議で次年度への思いが確固たるものとなり、7月からの伝統ある当クラブ会長年度を迎えました。

この10ヶ月「最も奉仕する者、最も報われる」という超私の奉仕の実践をめざし、「クラブ奉仕」を全ての中心に置き、剣田ガバナーの「ロータリアンとしての人格を形成する場所が例会会場だ」という言葉を心に、例会を重視し、会員の皆さんと共に活動を進めて参りました。「上野クラブの高齢化は限界に近い、地区で先行きを心配しているクラブの1つ」というガバナー公式訪問時の、会長幹事懇談会でのガバナーの言葉に触発され、近々に上野クラブ初の女性会員を迎えることとなり、他の新入会員のお誘いも急ピッチで行っております。地区大会を含め、3回訪れた高山は、我がロータリー人生の中で最も思い深い地となりました。残された会長任期の中で新しい芽を育て、次年度へ引渡したいと日々念じ活動しております。



## 一年間のロータリー活動を振り返って

名張ロータリークラブ  
会長 山崎 哲也

名張ロータリークラブの会長の職務も、本年度の終わりを迎えようとしています。私自身「社会奉仕への喜び」を標榜して一年間活動を続けて参りました。本当に喜び、喜ばれたのだろうか？疑問に思います。地域社会への支援、しかし一部分の人達にしかすぎない。これで良かったのかは、再度、普通の会員に戻っても一度考えたいと思います。しかし、私にとって最大の思い出は、地区協議会と地区大会において最大の喜びとなるものが得られました。それは人脈です。素晴らしい人脈を得られました。飛騨高山に行き、個人個人、色んな人の考え方、ロータリーとしても、考えの違いに思いながらも「最後は、友情として取り組む心」これこそロータリーの世界、そして日本だと思いました。

私の一年間を通して重点事業は「れもんぐらす」と「養護学園」への支援です。そして名張が生誕である「江戸川乱歩の感想文コンクール」等々です。社会奉仕への喜びは、常に市民の心を安らかにする。そして、その心こそがロータリーの活動から与えられたものです。唯一の喜びであると思います。

人と人との心、そして絆、これからは地域社会の平和と幸福を永遠に祈ります。そして私の生きられる人生の中で、夢と希望を持ちながら、地域社会に、貢献したいと思います。

本当に一年間、幸せて会長職を終われた喜びです。これからも名張ロータリークラブが、永遠不滅であることをお祈りし、報告を終わります。



## 一年間のロータリー活動を振り返って

津南ロータリークラブ  
会長 竹内 敏明

我がクラブは前年度の50周年記念に多くの行事を終え2016-17年度は健康で穏やかな絆を築く例会をテーマにすすめ、例会は会員の卓話を主にし、またファイアーサイトを積極的に関催しました。

それにより会員相互の絆が形成され、膝を交えた語らいは実のある内容でロータリーへの理解が深まったと感じています。R財団活動においては2016-17年度に在籍する全ての会員が寄付をするという100%寄付が達成されました。また、津市立橋南中学校との交流の歴史を継続し青少年奉仕活動の一環として生徒の職場体験と文化祭にクラブ活動におけるスポーツ障害と予防というテーマで講演を企画実施、6月には会員による職業講話を企画されていますが皆に支えられた1年間だったと思っています。



## この1年を振り返って

津北ロータリークラブ  
会長 岩崎 均

今年も例年通り出前授業から始まり、インターアクトのチャリティーバザー、ガバナー公式訪問ホストクラブ、三重県インターアクト協議会、予定外の募金事業そして大きな初めての地区補助金事業など、事業の多い年度でした。会長として不安で、気を引き締めてかかろうと進み始めました。ガバナー公式訪問ではSAA委員会、三重インターアクト協議会ではインターアクト委員会、地区補助金事業では実行委員会が中心に高田短期大学のご協力も得て、無事盛大に成し遂げることが出来ました。これらの行事に全委員会が好意と友情からさらに深くご協力いただき、クラブの結束が一段と強くなりました。これらの行事を、親睦委員会の御力で会員の仲を暖かく癒してくれました。

あと少しですが、これまで無事に運営が出来たのは会員皆様のご協力の賜物です。厚く御礼と感謝を申し上げます。



## 一年間のロータリー活動を振り返って

上野東ロータリークラブ  
会長 中尾 彰克

早いものでやがて一年が過ぎようとしています。今年度会長方針として「ロータリーを学び行動しよう」をテーマに掲げスタートした一年でありました。奉仕活動では、9年目となる学童福祉施設への文庫の寄贈と読み聞かせ会、高校生の就職模擬面接会、更にプロ演奏者による音楽指導。又、上野東ロータリークラブ奨学生も、卒業生を含め7名の子供たちの支援をして来ました。今年も子供たちの成長と共に過ごした一年でありました。

又我がクラブではガバナーエレクト年度であり、多くの方々に助けて頂き、沢山のことを学ばせて頂いた一年でもありました。

今後この経験を生かし、奉仕活動の更なる充実と時代の変化に対応していけるクラブへ進化して行きたいと考えております。



## 一年間のロータリー活動を振り返って

久居ロータリークラブ  
会長 辻原 宣和

昨年、高山でのPETSに参加して一年強、月日流れるのは早いもので、1年間の会長の職責も、もうすぐ終わらせる事が出来そうです。今年度は、年度の初めにインターアクトの年次大会の開催をお手伝いすることになり、関中央RCの古田さんからは色々ご指導頂いたのですが、やはり組織が違うとやり方も全く変わってきます。特に、今年は1日開催と言う例年に無いプログラムにチャレンジしましたので参加の皆さんに何かと不便をお掛けした所も多く有ったと思いますが、何とかならずに年次大会を終らせていただきました。

インターアクトの年次大会は、自分達のクラブのみならず、学生・学校との調整会場との調整、更には韓国の学校・学生との調整が必要になってきました。特に、今年度の年次大会の開催校が女子校のインターアクトクラブだったので参加の皆さんは全員スポンサークラブでお世話する事になり、ホームステイ先の会員の決定は来日の直前まで決まらなかった。しかしこの様なことも、やらせて頂くと思っても減多にやれない経験だったと今は良い思い出として残っています。

最後に、クラブのメンバーを始め多くの方々のご協力に支えられて1年間を終えることが出来ました。本当に有り難うございました。



## 一年間のロータリー活動を振り返って

名張中央ロータリークラブ  
会長 生田 亮司

今年度の会長を務めさせて頂き、残すところ後2ヶ月となりました。クラブ会員及び会員家族のご協力を以て今に至ることが出来ました事を先ずいってお礼申し上げます。有り難うございました。

当クラブは、創立22年目を迎えるクラブで、私は創立メンバーとして37才からクラブの活動に参加して参りましたが、創立当初の初心に戻る事を心掛け皆様と共にロータリークラブ活動に取り組んで参りました。新年度は名張中央ロータリークラブ創立以来の少数会員24名のスタートとなり、尚かつ1名の退会者がありましたが、1名の若手新入会員の増強を得ることが出来少し安堵致しました。

私達のクラブの特徴と魅力は、全員参加型のクラブであり、各会員の家族参加を中心に取り組んでいます。名張中央ロータリークラブはホームクラブであり、ファミリークラブでもあります。よって24名の会員ですが48名のクラブの運営であると考えております。

ロータリークラブで奉仕について多くのご指導を頂きました。ロータリークラブの奉仕とは I SERVEであり、WE SERVE であると思います。会員はみんなの為に、又クラブは会員の為にこれを基本として奉仕の活動の輪を広げることが、ロータリークラブの奉仕に繋がると考えております。引き続きまして地域に根付いたロータリーの運営に、御支援、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。





**一年間のロータリー活動を振り返って**  
 松阪ロータリークラブ  
 会長 砂子 貢

新しい組織図に沿って、松阪ロータリークラブはスタートし、私も、大変な緊張感をもってクラブ活動に臨んでまいりました。

おかげさまで、会員各位、役員の皆様のご協力で大過なく1年間終えることができました。会員増強、財団活動の目標も達成することができました。会員の皆様に感謝・感謝であります。また、親睦委員会の皆様の努力により魅力ある例会が誕生し、毎回の例会出席者は、増加し出席率は向上しました。月一回、クラブの年長者から、ロータリー(クラブ)に対する思いを20分程度お話いただき、若い会員さんの参考になっていたと思います。

このことが将来のロータリークラブ活動に役立っていただければ幸いです。一年間本当にありがとうございました。



**一年間のロータリー活動を振り返って**  
 松阪東ロータリークラブ  
 会長 中村 容子

私にとりまして、会長研修での発表、月信への寄稿と印象深く始まりました本年度は、教育や青少年を対象にした奉仕を目標に掲げさせていただきました。職場例会では、松阪看護専門学校を訪問、看護師を目指す若者の決意を聞かせていただき有意義な一日となりました。財団の補助金事業は、不登校高校生支援としてNPO法人チャレンジスクールで寄贈した機械を使い、当クラブの会員を講師としパソコン教室を開催、ロータリーアクトのメンバーも参加していただきました。児童養護施設「聖の家」へは松阪分園への家具の寄付。子供達との交流例会では地元企業、学校の協力を得て郷土愛を育む行事が出来たと思います。各委員会が積極的に指導力を発揮し、活発な運営をしていただきましたことを感謝申し上げます。



**一年を振り返って**  
 熊野ロータリークラブ  
 会長 濱口 佳丈

山門幹事はじめ、理事役員の皆様、会員の皆様のご協力のおかげで無事一年間務めさせていただくことが出来ました。

会長職で大変なことは、毎週の挨拶でした。パソコンで、いろいろ話題を膨らませ調べ始めると結構時間がかかりましたが、逆に色々なことがわかり勉強になりました。

一番良かったと思うことは、他のクラブの人とお会いする機会が増え、お付き合いが始まりそこからいろいろな人とのつながりが広がりました。ロータリアンという安心感があるからではないでしょうか。

会長として、自分なりに最善を尽くしたつもりなので、達成感はありません。一年間有難うございました。



**一年間のロータリー活動を振り返って**  
 尾鷲ロータリークラブ  
 会長 北村 豪

今年度は特に青少年奉仕活動に注力いたしました。6年目の中学校への出前授業の他に少年サッカーチームへゴールの寄贈、地元のイベントに合わせて中学生達とポリオ撲滅の募金活動を行いました。募金活動前にはクラブ会員からポリオの現状などを子供達に伝えたところ子供達の心に何か刺さったようでとても熱心に頑張ってくれました。お蔭で予想を超える募金額が集まりましたし、なにより子供達が必死に声を張り上げ頑張る姿に我々会員一同が感動したことが今年度一番の思い出です。

会長として力不足ではありましたが、会員の皆様に助けて頂きながら無事に会長年度を終えることが出来ることを感謝し、この経験をこれからのロータリー活動に生かして行きたいと思っております。



**一年間のロータリー活動を振り返って**  
 松阪山桜ロータリークラブ  
 会長 清水 三昭

今年度会長として、いかにクラブに貢献出来たのか、振り返りたいと思います。静粛の中で例年通り理事・役員挨拶からのスタートでした。早々にクラブフォーラムで我々松阪山桜RCは、クラブの例会を意義あるものにするには?のテーマの基、クラブに求められる貴重な意見、反省点等、9項目を掲げ、例会運営に生かす事としました。又、我がRCとしては、初のグローバル留学生をアメリカに送りました。今後の大きな一歩となった気が致します。氏郷祭りでは、盲導犬に対する理解や普及が、益々社会に受入れられる様、クラブを挙げて取り組みをしています。そして、台湾板橋西區扶輪社・岐阜淡墨RCとの姉妹提携更新を致しました。

最後に、ご支援・ご指導・ご協力を賜り無事1年終わらせて頂き厚く御礼申し上げます。



**一年間を振り返って**  
 伊勢ロータリークラブ  
 会長 松葉 康博

会長をお受けして以来、少しでもクラブのお役に立ちたいとの思いで務めて参りましたが、結果自分が成しえたことより皆様から戴いたことのほうが遙かに多かったと思います。

当クラブは、4年後に創立70周年とスポンサーIACによる地区年次大会が控えております。今期はその礎の第一歩である位置付け、クラブの活力である親睦とスポンサークラブとしてIACへのサポートの強化を、重要な課題として取り組みました。また地区からの依頼を受け、1月から交換留学生の受け入れを行っております。青少年奉仕へのプログラムは、この1年で歩みが加速したと思います。かねてより懸案事項であった、RI定款細則変更に伴う当クラブの細則の改定は、伊勢ロータリークラブの歴史と伝統を踏まえ、「例会と出席」を重んじた従来通りの決定となり、会員諸兄のご意見を重く受け止めさせていただきました。

関係委員会各位、ホストファミリーとカウンセラーを受けて戴いた方々はもとより会員の皆様に心より感謝申し上げます。折に触れ皆様方の友情を身に染みて感じる1年間でした。色々学ばせて戴き本当にありがとうございました。



**一年間のロータリー活動を振り返って**  
 鳥羽ロータリークラブ  
 会長 増田 肇

第53期の会長ももうすぐ終わろうとしています、あまり独白は出せなかったように思います。行事としては大きいものは、6月に第14回目となる継続事業「インターナショナルだよ鳥羽の子ども達」を残すのみとなりました。特に印象に残った例会として、2月に鳥羽商工会議所青年部のメンバーを招いて、「鳥羽市の活性化につながるキャリア教育支援」をテーマにブレインストーミングの手法により行ったことです。短い時間ではありましたが、その後の懇親会も含めて非常に有意義な時間でした。3月には同じく鳥羽の青年部と田原市渥美商工会青年部との鳥羽・伊良湖交流イベントに、鳥羽RCとして伊勢うどんのブースで協力することも出来ました。会員の皆様のご支援ご協力に対して、心より感謝を申し上げます。



**一年間のロータリー活動を振り返って**  
 伊勢南ロータリークラブ  
 会長 荒木 俊明

今年、伊勢南ロータリークラブは創立50周年を迎えました。この節目の年に会長を拝命することになり、その重責をひしひしと感じた1年でした。

50周年記念事業は、名古屋フィルハーモニー交響楽団のフリーコンサートを主催し、そこで名フィルと地元中学生との合同演奏を行いました。亀谷実行委員長をはじめとする実行委員会の方々、さらに当クラブのメンバーが心をひとつにして取り組み、お陰様で、このコンサートはロータリーの文化的な事業として、外部からも高い評価を得ることができました。また、この事業により更なる会員相互の親睦が深められ、50年の集大成として、そして将来に向けての新たなスタートを切ることができました。

この1年間を振り返って思うことは、支えていただいたメンバーの皆さんへの感謝の気持ちしかありません。本当に有難うございました。

# 2016-17年度 クラブ会長挨拶



## 一年の活動を振り返って

志摩ロータリークラブ  
会長 田中 愛偲

「愛と総意で進めよう ロータリー奉仕活動」をクラブのテーマに、親しく和やかな例会運営と会員の維持をこころがけ、会員全員の協力のもとで奉仕活動をしてきました。

ロータリーデー開催を始め、障がい者施設の人達とのクリスマス交流会、入場者1,000人を超す4回目となる文化交流祭、バリ島の恵まれない子どもたちに学校の手洗い場設置、エンピツ文具等を市内の小中学校の生徒の協力で集め贈呈等々多彩に活動することができました。

また、集めた寄付金等を市内の小中学校児童の競技用ゼッケンの費用に充て、市に寄付しました。米山奨学生の受け入れ、地域のJC、LCとの交流会や、友好クラブの小倉中央RCの25周年記念例会に訪問し交流を深めました。

会員増強は1名増、更に2名入会予定です。年間の予定の奉仕活動が出来たことを会員皆様、関係者の方々に深く感謝いたします。



## 一年を振り返る

伊勢中央ロータリークラブ  
会長 東 伸周

『最も出席するもの 最も報いられる』ガバナー方針のもと、94%以上の例会出席率を保ちながらクラブ運営を進めることができました。

会員増強においては、健康上の理由により1名がやむなく退会となりましたが、新入会員を迎えることもでき一定数を保つことができ、また次年度にも増を見込める予定です。

財団寄付に関しては、I.D.M.において意見を出し合い、委員会に協力をお願いして新しい取り組みも行われました。後日、その成果は現われるものと思います。『楽しいロータリーを』をテーマに、仲間を大切に、自ら考え、自ら学び、ロータリーの花を探求すべく、ささやかながら力を尽くして参りました。

決して変わることのない受け継がれてきた心と新たに進化する活動を次世代に信じ、27年目の一年を閉じたいと思います。

会員及び各関係の皆様には、多くのご協力をいただき大変ありがとうございました。



## この1年を振り返って

伊勢度会ロータリークラブ  
会長 越川 貴行

今期我がクラブは20周年に当たり、またグループガバナー補佐の当番年と重なり、全会員13名と云う小クラブで、不安があったが、幸い三宅氏が、ガバナー補佐を引き受けてくれて、11/19伊勢島羽志摩グループのインターシティーミーティングでは、『伊勢志摩サミットのその後』と云うことで、鈴木栄敬三重県知事の基調講演や、昼食には国内で有名な相可高校の「孫の店」の料理を頂きアイディアいっぱい楽しいI・Mと親田ガバナーのご要望による打ち上げを島羽エクスパにて地区より13名の役員も加わり盛大な宴を催した事でした。

そもそも当クラブは13名と云う少人数にはなりましたが、熱意ある素晴らしい人々が残り、クラブの団結も良く、出席率100%を誇り、財団寄付に於いても150ドル寄付を二つ返事でもらえる仲良しクラブです。亦幸い3月に待望の新会員を迎え会員14名となりました。これからは、良き仲間が増えてゆくものと確信しております。活動もR財団の補助金をうけて、今年度は子ども能楽の援助をさせていただきました。来年度は、伊勢音頭の文化財指定にむけての活動の支援を行って行く所存です。今年度もあと25月となりましたが、まだ20周年祭が5月にあります。記念行事として毎年おこなっている「みどりは友達」のキャッチフレーズの基に植樹をします。「20周年委員長」の山本氏の発案でオリンピック女子マラソンで優勝の「野口みずき」さんが練習した伊勢の野口ロードにハロミツキを植えます。将来良き記念となるでしょう。最後に「負ばれよ！抱かれよ」とお世話になった幹事の奥野氏に深甚の感謝をするものであります。



## 一年を振り返って

岐阜ロータリークラブ  
会長 高橋 伸治

早いもので一年が過ぎようとしています。今年度、RIの大幅な定款改定によってロータリークラブの運営そのものが変革の時期にきています。この様な節目の時期に会長職を勤めさせて頂き大変いい経験をさせて頂いたと思っています。私は今年度のクラブテーマを「例会と会員親睦を大切に」とし、楽しい例会・楽しい奉仕活動・楽しい親睦活動を目標にし、会員同士の「輪」と「和」が広がれば会員一人一人が「ロータリークラブに入って良かった」と思っていたらいいようなクラブ運営を目指してきました。恒例の家族納涼例会・家族旅行(宝塚歌劇)には多くの会員・家族の方に参加していただき大変喜んでいただきました。また、当クラブの特色ある事業として社会奉仕委員会事業として初めて「クラザール音楽会」を開催しました。これは、クラザール音楽堂は本クラブ会員が私財を投じて建設された建物であり、現在有志会員が継承され維持管理されております。そのホール支援と文化の振興を目的に夜間例会として奥様同伴で開催させていただきました。

振り返ってみると、創立82年の歴史と伝統のある岐阜クラブの会長という重責を感じつつ、クラブ会員の「ロータリーの友情」に支えられていた感謝・感謝の一年でありました。本当にありがとうございました。



## 今年度を振り返って

岐阜西ロータリークラブ  
会長 山田 佳孝

岐阜西ロータリークラブは今年度で57期を迎え、伝統あるクラブの中で運営につきまして諸先輩、会員皆様方のお知恵を借りながら1年が過ぎようとしております。RI会長のジョンF・ジャーム会長は今年度のテーマを「人類に奉仕するロータリー」としてロータリアンはロータリーによる善き活動により実現して将来にロータリーのリーダーとなるロータリアンを増やす事だと言っておられます。また2630地区の親田ガバナーは最も出席するもの最も報いられると地区方針を出されました。これはすなわち例会に出席することがなによりも大事であり出席することがすべての奉仕活動に繋がる原点と言っておられます。

当岐阜西クラブもこの方針に沿って、今年度のクラブ運営方針を「全員出席で楽しい例会」としました。毎週の例会においては出席率を会長支持率としてカウントし出席出来ない会員にはメイクアップを推進し出席率の向上を高めてまいりました。活動内容11項目を掲げ特に週報の充実、新会員2名の増強、会員親睦の為夫人含む5回の特別例会を実施しました。今年度はRIの定款変更等ロータリーにとって変化の時期ではありましたが、今後のロータリーの活動の原点は不変なものです。次の期に向けての新しいロータリー活動に期待して今年度を振り返ってとします。1年間ありがとうございました。



## 一年間のロータリー活動を振り返って

岐阜長良川ロータリークラブ  
会長 河合 喜三

今年度、親田廣喜ガバナーが、地区活動方針テーマに「最も出席するもの、最も報いられる」と掲げられました。ロータリー活動は、例会出席から始まり、親睦を深め、奉仕活動へと！そこで、今年度の当クラブは、少しでも多く参加していただきたいと、奉仕活動を進めてきました。家族同伴も含めての年4回の特別例会を例会場を変えて行い、特に多治見での酒蔵見学と昼食会、そして桜を見ながらの岐阜祭宵宮観桜夜間例会に多くのご参加をいただきました。

また、久しぶりに新年互礼会を行い、新たな交流と親睦を深めることが出来ました。その他、創立50周年記念事業としての高等学校2校への奨学金と施設への支援金の贈呈、姉妹クラブの韓国安東RCとの夏期交流学生相互訪問にはご理解とご協力をいただきました。お蔭様で安東RCの学生4名と当RCの学生2名が相互訪問いたしました。

会員皆様の結束力を改めて感じる事ができ、一年間ご支援をいただいたことに感謝をしたいと思います。ありがとうございました。



## 1年間のロータリー活動を振り返って

岐阜北ロータリークラブ  
会長 安藤 武司

会長になり、ロータリーとは…学びの年と思い「ロータリーヒストリー」を、会長挨拶の中に取り入れてご案内致しました。

・ロータリー徽章(バッジ)の由来・ロータリーソングの由来・点鐘の由来・パナナの由来・最初の奉仕活動は？・ニコニコBOXの由来等  
・インターアクトロゴの由来では、RI事務局の尾畑さんを通じてUSA本部のスーザンさんには、調査ご協力に感謝いたします。

R財団地区補助金を頂き、青少年育成では岐阜北ロータリーカップ・バレーボール大会の実施に伴い、Vリーグの「岡山シーガルズ」さんより選手・講師を招き、バレーボール教室にて実技指導を致し、子供達のはつらつ笑顔には感動を覚えました。

社会奉仕事業の一つに「若松学園支援事業」(虐待児童等の養護施設)がござります。サマーキャンプ・学園祭・Xmas会などでの、子供達の笑顔が、とてもさわやかな気持ちにさせてくれました。



## 一年を振り返って

岐阜中ロータリークラブ  
会長 秋保 賢一

会長就任直後に当クラブが岐阜AグループのIMのホストクラブを勤めることになりましたが、実行委員長の用意周到な準備のおかげで無事役目を果たすことができました。当クラブには優秀な人材がいることをあらためて思い知った次第です。

また、当クラブは、アジア保健研修所と協力し、フィリピン・北ダバオ州・ニューコレリア町で健康推進事業を行っております。本年度はダバオでテロがあったために訪問はできませんでしたが、生活習慣病と栄養指導のリーフレット等の配布をしてもらいました。

親田ガバナーから「会長挨拶ではかならずロータリーの話をしよう」との指示を頂戴したため、毎回、ロータリーに関する自分の素朴な疑問を調べた結果を会長挨拶の中で披露し続けてきました。会員に与えた感銘力の程は甚だ疑問ですが、私自身が今更ながらロータリーの何たるかを勉強することができたのは思わぬ効果でした。

いずれにしてもロータリアンとして、貴重な経験をさせて頂き、幹事、会員の皆様方や親田ガバナーをはじめとする地区役員の皆様方に感謝申し上げます。



### この一年ロータリー活動を振り返って

岐阜南ロータリークラブ  
会長 浅野 良浩

今期は60周年で明け、60周年で暮れようとしております。そして、大きな目標は、積年の念願であった「100名の会員」になることでした。今から、3年前にさかのぼりますが、戦略会議・60周年実行委員会で100名の目標が出来ました。今期の期首会員は80名、12月・1月には90名となり、60周年記念例会の準備と並行して10名の会員入会を勧めて頂きました。最終的には、2月の記念例会に間に合い、実行委員長長の101名宣言が成就されました。近年、まれにみる会員数となり、60年の歩みの中では、創立28年目の25名と並ぶ最多加入でした。

ここで特筆すべきは、100名にしようと宣言をし、それを実行できたことにあります。目標を立てても、それが実行できなかった例はいくらでもあります。それを成し遂げたとともに、岐阜南ロータリーの底力を痛感した次第です。これからは、入会頂いた方々が、ロータリーの本質に気づき、「生き長く会員たれ」と願うばかりです。皆様のご協力に感謝し、筆を置きます。



### 一年間のロータリー活動を振り返って

岐阜東ロータリークラブ  
会長 松田良明

今年度も残すところ2か月になりました。ロータリークラブは一年間で役が交代します。ロータリークラブ運営が基本であり、例会に出席して頂きクラブに活力を付け、会員一人一人が地区に対して奉仕に努め、魅力あるロータリアンになっていけるよう我々は行動していきたいよう心掛けることです。

会長・幹事・理事・各委員会委員長が一年交代することに私は疑問を感じます。何をやるにも計画を立てて目標・目的を立てて行動し創り上げるには、最低でも2～3年かかります。況してや、異業種の集まりで利害関係等があるわけではありません。会員一人一人の信用・信頼のみで会員に加入してもらえます。私が10か月を終えて反省する部分は、会長になる1年前から中身にある、そして重みのある卓話者を例会に来てもらえるよう計画を立て、各委員長と練って創り上げていく事が例会の素晴らしいことになり、魅力あるロータリークラブになっていくのではと信じます。毎日忙しい現代社会の中で両立させていく事は大変だと思いますが、大変だからこそ「ヤリガイ」が出てくるのです。今年一度、努力していきます。今年一年間、ご協力ありがとうございました。



### 一年間のロータリー活動を振り返って

岐阜東南ロータリークラブ  
会長 小川 光明

早いもので、私の会長任期も無事終わることができました。就任当初はこれから1年がとて長い1年になるものと不安で一杯でしたが、ただ過ぎてしまうと、ちょっと寂しさや安堵が入り混じる複雑な心境です。

今期、会長として掲げた「継続と変革、そして魅力あるロータリークラブへ…」を会長テーマとして活動してきましたが、100%満足できたかと問われると、やはり後悔とやりきれなかつた感が多々あったように思います。過去40数年続けてこられた、岐阜東南RCとしての行事の継続、そして新たな笠松町での活動への参加は、これからのR活動の一歩となればと思います。そして、定款の変更と細則の見直しを進め、時代にあったRCとしての活動を次の世代に引き継ぎ掛橋にされたことと思いつつ、1年間頑張ってきました。しかしながら会員一人一人に、我岐阜東南RCの誇れるものを持って頂き、会員増強に励んで頂きたく思っていました。結果として会員の純増には繋がりませんでした。深く反省すると共に、次年度への申し送りとしてさせて頂きたいと思っております。最後に微力なことを支えてくれた、幹事・理事役員そして会員の皆様にも改めて感謝致します。



### この一年を振り返って

岐阜加納ロータリークラブ  
会長 宇野 耕史

RI会長ジョンFジャーム様の「人類に奉仕するロータリー」、RI2630地区のガバナー剣田廣喜様の「最も出席するもの最も報いられる」のテーマを踏まえ、40期の当クラブのテーマは「志のわを広げよう」に致しました。以下が今年度の主だった行事となります。

まずは規定審議会によるクラブ定款及び細則の改定を致しました。尚、クラブテーマ「志のわを広げよう」を念頭に、皆さんで継続し行動を興したところ、今年度は5名の新会員を迎えることが出来ました。3月には青少年育成の一環として第15回岐阜県ジュニアゴルフトーナメント及び例会を開催致しました。また、岐阜中山道ロータリークラブとの合意により、合併締結に至りました。次年度は、40周年記念式典、次年度は地区大会開催に向け、会員全員が一丸となって準備に取り掛かっております。最後になりますが、この一年間岐阜加納ロータリークラブの会長を無事に務めさせて頂く事が出来ました。ご協力を頂きました皆さまには心より感謝を申し上げます。



### この一年間のロータリー活動を振り返って

岐阜エトスロータリークラブ  
会長 真鍋 貞典

この文を書いているのは4月5日です。例年は桜も満開の時期で、会長職ももう残りわずかとなり心はうきうきとなるはずですが、今年はそうはなりません。5月に25周年創立記念の記念事業の音楽祭と式典を控えて、準備の真盛りです。昨年12月には、岐阜・大垣地区のインターアクト協議会を担当開催しました。

こうした対外的な大きな事業が重なり、会員の皆様が大変な負担を強いることになりました。年度の初め、私の頭にあったのは原点復帰の年度にしたいという思いでした。新入会員も少しづつ増え25周年という節目でもあり、もう一度内部充実を計りたいと思って、今までの事業内容を振り返り、十分に理解し会員の皆さんに積極的に活動に参加してもらう基を確認したかったのです。

しかし前途のこと等もあり、思った様には実行できませんでした。次期の若い会長にはこうしたことにならぬよう協力していくつもりです。反省と感謝。



### 一年間のロータリー活動を振り返って

岐阜城ロータリークラブ  
会長 杉山 昌治

今期会員数は18名のスタートとなりました。自ずと会員増強は重要課題であり、メンバーからの協力が最大に得られるよう、各委員会から出されたプランを全て取り入れ年次計画を作成し取り組んでまいりました。

特に3月25日に行った地区補助金事業「清流長良川中流域におけるアユの稚魚放流事業」には、全会員の団結、そして長良川漁協・行政関係を始め各種団体からの協力も得て、95名の地域の方々に参加で盛大に開催することができました。当日のアンケートには異口同音に「ロータリークラブの取り組みは素晴らしい」との高評価もいただくことができました。

ただ残念なことに「増」には至らなかったことが大きな反省点です。最後に次期会長を「明るく、楽しく、力強く」サポートする事を誓い会長の役割を終えたいと思っております。



### 一年間のロータリー活動を振り返り

岐阜中山道ロータリークラブ  
会長 志知 正博

年次計画通りの活動にて残すところ2ヶ月となりました。ロータリー活動に対する会員の参加意識が例年よりも強く感じます。期首に岐阜加納クラブとの合併の計画が出て以降の会員の中山道に対する思いが伝わってくるようです。

設立20年の節目に記憶に残る奉仕活動を計画し、会員全員と御家族様参加でのスリランカへの訪問は計画の進行に伴い規模が大きくなりました。訪問期間中の強行日程にも精神的に消化した会員の熱意や団結力には敬意を表します。

岐阜中山道の名称は今限りにて無くなりますが、今までのロータリー活動にて培ってきた宝物を大切に今後ロータリー活動に生かしてまいります。



### 一年間を振り返って

大垣ロータリークラブ  
会長 石井 成一

どういう風の吹き回しか、私は高齢で会長を務める事になり、他の公職もあり、ご辞退したかったのですが、断り切れずお引き受けさせていただきました。

人生というもの、年をとれば楽になるものと思っていましたが、まさに反比例でした。又、ロータリークラブの方向性が、高山地区大会基本方針の大会決議「日本の伝統として承継するロータリー文化」という事になったのは非常に意義のある事だと思いましたが、ジョンF. ジャーム会長のお言葉で「ロータリーに限界があるとすればそれは私たちが自分自身に設けている限界にすぎない」をつくづく体感いたしました。

# 2016-17年度 クラブ会長挨拶



## 一年間のロータリー活動を振り返って

大垣西ロータリークラブ  
会長 大橋 賢治

今年創立55周年を迎え、通常ですと式典等を含め、大々的な周年事業をやってきました。今回の55周年は会員だけのお祝いとなりましたが、今まで以上、親睦がより深まったと思っております。今期の地区目標「最も出席するもの、最も報いられる」を会員の皆様に周知し、100%出席例会を2回達成することができました。

これを単年度で終わらせるのではなく、次年度以降も続けていただけたらと思います。又、ロータリーの永遠の課題である「会員の増強維持」については、新会員の入会もありましたが、退会者もあり、ほぼ現状維持となりました。

もう一つの喫緊の課題である、ローターアクトクラブ会員増強が出来なかったことも含め、会員の皆様には申し訳なく思っております。

この一年間を振り返って、私を支えてくださった会員の皆様に心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。



## いい出会い、良い人生！

本巣ロータリークラブ  
会長 松村 多美夫

7月に会長に就任し、早いもので任期も残り僅かとなりました。就任当時は県議会議員で会長が務まるのかと心配をしましたが、幹事、副会長を始め、会員の皆さまに助けられ重責を全うできそうです。本会議で止むを得ない場合を除き欠席は三回。ロータリーの様々な事業や他クラブとの会議などにも全て出席することができました。入会してから十八年。議員だからとの甘えから、ロータリーの大役を避けてきた自分を恥ずかしく思います。

「やれば出来る」との自信と同時に、多くのロータリアンとの出会いが、またひとつ私の人生を豊かにしてくれました。これからも貴重な経験を活かし、クラブ運営に協力して参りたいと考えています。一年間、本当にありがとうございました。



## この一年を振り返って

羽島ロータリークラブ  
会長 加藤 宗雄

振り返りますと、あっと言う間の日々でした。それほど中身の濃い一年を送らせて頂きました。一昨年の暮れに財団の地区補助金の申請をして、年明け早々に申請書の訂正箇所を正した物を送り、結果を待つ間に「PETS」があり、その懇親会の会場で地区の補助金委員会の方から「通りましたよ」と言われ「やったー」と思うのと同時に責任感を強く感じました。年度初めの8月には、自立援助ホームに補助金プロジェクト「ohanaの家の子供達に就職先の紹介と寝具の提供」と命名して執り行いました。今も続けて就活のお手伝いをしています。次年度、羽島ロータリークラブは創立50周年を迎えます。会員増強が最優先の課題と考えた時に、若手会員とベテラン会員が力を合わせて今年40代2名の会員の増強が出来ました。ここ4期で8名の増強が出来たのも若い会員の交友関係に目を向け、会員同志力を合わせ努力した結果だと思っております。2016-2017年度の会長を指名頂いた時は、私に務まるのか私自身が一番心配でしたが、理事役員をはじめ、会員の皆様に助けられここまで来ました。後継かになりましたが、とても貴重な経験をすることが出来、地区・分区・当クラブに感謝しています。ありがとうございました。



## 2RC 合併1年目の活動を振り返って

不破ロータリークラブ  
会長 澤頭 健治

早いもので、新生不破ロータリークラブの初代会長を仰せつかり不安の中での船出でしたが会長職も残すところあと2月余りとなり、私としては大変充実した思い出に残る1年間だったと感じています。まずは皆さんにクラブ運営にご協力を頂きまして誠にありがとうございました。おかげさまで無事1年間を終えようとしています。改めて感謝申し上げます。

私は会長就任の挨拶で、合併を期に会員の質を高めること、そして会員同士がお互いを知り合うために会員間の交流の場を増やし心からうち解け合って、一体感の持てるクラブになるよう努めますと、皆さんに約束しました。どこまで出来たかは今のところ分かりませんが、あまり急がず自然体でいけばいいのではと思います。

この5月には2名の新会員が入会してきます、会員の皆様の協力のもとに一九となって3年後の50周年に向かって頑張りましょう。



## 1年間を振り返って

大垣中ロータリークラブ  
会長 古川 武光

2016-17年度RI第2630地区ガバナー鯉田廣喜様が掲げられました地区方針「One profits most who attends most.」を会員に実践していただく為には会長として私がどんな工夫をする必要があるのか随分悩みました。我々のクラブにはロータリーへの求心力を高める時期がきていると常日頃私は感じておりました。

そこで私が得ました結論は、第一に、ロータリー例会の充実と会長のプレゼンスを高めることであります。つまり、会長スピーチの充実により出席されました会員により有益な情報を提供するという戦略でありました。勿論、その内容の受け取り方は会員各位様であったかと思っております。年平均出席率84%を確保出来たことは幸いであり、会員の皆様の協力で大いに感謝致しております。

第二に、今年度のRI定款変更に従いクラブ細則の一部の改正を採択し、新会員の入会を容易に致しました点であります。今後、当クラブに僅かでも躍進が訪れることを期待致しております。

最後に当クラブで2年間にわたりお世話させていただきました米山奨学生(中国)さんが無事名古屋大学大学院を修了されたことは、私達会員にとって大変喜ばしいことであります。全体として、日本社会の高齢化と世界経済の停滞がロータリー活動の重石になってきていると感じる1年間でもありました。



## 1年間のロータリー活動を振り返って

大垣センチュリーロータリークラブ  
会長 松井 博幸

2016-2017年度会長を務めさせて頂きましたが、任期も残り僅かとなりました。本年度は出席率向上と会員増強に努め「楽しいロータリー」「魅力あるクラブ」を目指し運営して参りました。我がクラブの例会は昼例会と夜例会がある事が特徴で、仕事の都合上出席しやすい例会に出席して頂く為、出席率に大きな変化はありませんでした。会員増強に関しては目標の達成はできませんでしたが、逆に会員相互の暖かい友情の支えが、退会される会員を防止することにつながっていると思っております。

本年度会長を務めさせていただいた事は私自身の貴重な経験となり、今後のロータリー活動にも生かせるよう努めたいと思っております。

最後にクラブ会員の皆様のご協力に深く感謝いたします。

1年間ありがとうございました。



## 一年間を振り返って

岐阜淡墨ロータリークラブ  
会長 伊藤 彰浩

今年度、私どものクラブは創立25周年を迎えます。その記念すべき年に会長職を仰せつかり、重責をひしひしと感じながらの一年でした。少人数クラブですが、お蔭様で大変多くのロータリアンの皆様をお迎えし、成功に収めることができました。関係各位のご尽力に厚く御礼申し上げます。また、今年私どものクラブは地区補助金を活用して、テリトリー内の中学2年生を対象に、2泊3日の日程で、東日本大震災の被災地での復興体験学習支援事業を行いました。参加した16名の生徒達は、復興が遅れている現状や、被災した当時のまま残っている建物を見たり、語り部の方のお話を聞いたりして、地震や津波の恐ろしさを痛感した様子でした。今後はこの体験を生かしてくれることを願っております。

今年度のRI会長のテーマは「人類に奉仕する」。第2630地区の鯉田ガバナーのテーマは「最も出席するもの 最も報いられる」です。当クラブの出席率は常に高く、何ら問題はありません。最大の課題は会員増強です。IDMでも常に「会員増強」についてのテーマで話し合い、其々努力はしておりますが現時点では入会者も無く厳しい状況が続いております。年度が替わる前には新会員の顔が見られるよう増強に努めたいと考えております。



## この1年間を振り返って

岐阜サンリパーロータリークラブ  
会長 大野 道夫

2回目の会長ももう終わろうとしている。大過なく過ごせたのも永田幹事や会員皆様のおかげだと思っている。この1年間に会員の純増が2名果たせそうだったが、どうしても仕事が忙しくてとても例会に出席できそうに無いと、先延ばしとなってしまった方がいて実現できなかったのが残念である。

「立野御殿万歳」を地区からの補助金を頂いて実施できたのが印象に残っている。小学生が地元に残っている伝統芸能を何とか維持し継承しようとしている姿を少しでも後押しできたと思っている。地区協議会・地区大会と違い高山まで出かけるのは大変だったが、それもまた新しい出会いがあり、語らいがあり楽しい思い出であった。

姉妹クラブである鹿児島東RC・台湾台北城RCとの交流は小さなクラブとしては大変ではあるが先人から受け継いだ大切な人的交流であり今後も大いに盛り上げていきたいものである。

来期、早速IAの地区大会のホスト・25周年記念式典が待ち受けているので、もう少し頑張らなければならないだろう。



### 一年間のロータリー活動を振り返って

多治見ロータリークラブ  
会長 加藤 守孝

「知行合一」〜皆で楽しく〜を掲げてスタートした今期も残すところあと僅かとなりました。各種委員会の自発的活動計画を徹底して実行して頂くと言う方針でしたが、是まで比較的静かであった国際奉仕や青少年奉仕も含めて、充実した一年と思います。

各委員長のリリーディングと実行のためのご努力に心から感謝しています。RCクラブ情報の共有化や、地域に対する新しい奉仕活動の活発な動き、斎木AGを中心に地区8RCの結束強化、会員増強、IGMと新入会員の教育研修、数々の親睦活動、等々、委員会活動の充実した一年間でした。

この期の会長として何とかそのバトンを次期会長に渡す事が出来る事は望外の喜びです。有難う御座いました。



### 誰かのために今できることを

中津川ロータリークラブ  
会長 波多野 一夫

第59期7月7日、七夕の日、短冊に一年の無事を願うスタート。

RI会長のテーマ「人類に奉仕するロータリー」と聞き、クラブテーマを「誰かのために今できることを」とする。

ロータリーの原点である職業奉仕「出前講座」を7月15日県立坂下高校で行う。多くの皆様より励ましと激励の言葉を頂き緊張の中進める事が出来た。リニアの停車駅、中津川の魅力発信、地域の伝統芸能「地歌舞伎」の継承のため「ジブキ体験講座」を開催、その講座に参加した親子が、中津川地歌舞伎保存会の吉例発表会に出演、見事に初舞台を演じ感動を与えてくれました。「地歌舞伎の街中津川」のために。

自分たちの住む街の事を常に考えている中津川ロータリークラブのために、活動させて頂いた事と、会長を支えて頂きました会員の皆様に感謝申し上げます。御礼のご挨拶と致します。ありがとうございました。



### W・H・G例会を振り返って

瑞浪ロータリークラブ  
会長 河口 一

今年度は例会出席を最重要テーマに掲げました。W・H・G例会です。Wは笑い笑顔のある例会。Hはホッとして和む例会。Gは元気になる例会です。

昨年7月に大相撲名古屋場所観戦大家族例会を挙りました。白鵬が稀勢の里に敗れ、ざぶとんが乱れ飛んだ光景は今も懐かしいです。例会に継続参加してもらう為にどんな企画が良いか。何を話せば笑顔になるか。会長の時間は私にとって試練であり研修の場となりました。本年最後の事業は姉妹提携先の台湾の竹南RC創立40周年記念式典への訪問です。40数名の参加です。終わりに景山幹事、小倉親睦委員長をはじめとする役員、会員の皆様のおかげをもち、無事に終えることができそうです。感謝です。



### 一年間のロータリー活動を振り返って

恵那ロータリークラブ  
会長 渡辺 敏夫

今年度の恵那クラブは55年の歴史「つなげよう輪の力」のテーマのもと一年間を進めてきました。創立55年の節目、次に繋がることのないだろうかと考え創立35周年を迎える姉妹提携先のハワイパルリッヂRCとの合同記念式典を行う計画を立てました。式典は平成29年2月11日ホノルルカントリークラブで、両クラブ52名のメンバーと家族が集まり開催。式典は両国歌斉唱、ハイスクールの生徒さん達のオープニングで始まり両クラブ会長の姉妹提携継続の調印式へと進みました。合同の記念パーティーは和気あいあいの中進み、全員で記念写真を撮り良い記念となりました。1984年2月 野村会長以下4名のメンバーがハワイパルリッヂRCに訪れ姉妹提携調印を行い、33年の月日が流れました。

先人たちが築き上げてきた この歴史ある国際交流への思いを我々が次の世代に繋げていくことが大切なことだと思います。



### 一年間のロータリー活動を振り返って

土岐ロータリークラブ  
会長 山村 宜久

畑田ガバナーによるロータリー信条、「最も出席するもの 最も報いられる」に賛同し、例会を大切に、そして充実させ、より多くの会員が強制ではなく自発的に出席したくなるような例会を目指しました。

例会は通常例会の他夜間例会、モーニング例会を設営し、出席し易くしました。さらに、外部者の卓話を増やし、会長の時間も一回限りの話題ではなく、ストーリー性を持たせた連続ものをもって来たりしました。結果、三月末現在の例会平均出席率は89.96%となっています。

また、今年度は土岐クラブより斎木寛治ガバナー補佐を輩出し、ガバナー補佐のリリーディングのもと、メンバー全員が一致団結し東濃ブロックのI・Mを開催することができたことも大変印象に残っています。

最後に、至らない私を一年間支えてくれたメンバーの皆さん、本当にありがとうございました。



### 一年間のロータリー活動を振り返って

多治見西ロータリークラブ  
会長 中島 竹壽

会員数38名のうち80歳以上が12名、平均年齢71歳の多治見西ロータリークラブの特徴は、会員同士の仲がとても良く「友情を深めよう！仲間と感動するロータリー」を会長テーマとした通り、和気あいあいに一年間を過ごさせて頂きました。

また、国際奉仕委員会担当の台湾苗栗扶輪社とはお互いに訪問しあい、国際的にも友情を深め台湾の方と共に感動することが出来ました。

その苗栗扶輪社とはお互いの町で43年間両国の小学生の書画の展示を続けています。親睦委員会が企画した上高地への家族親睦旅行の思い出は今でも話題になります。一年間を振り返り、多治見西ロータリークラブとしてさまざまな活動を通じて友情を深め感動させて頂いた仲間へ感謝の気持ちで一杯であります。今後は高齢会員からの教を若い会員に伝えるべく仲間を増やしていきたいと思っております。



### 一年を振り返って

中津川センターロータリークラブ  
会長 安藤 茂

クラブテーマ「親睦と友情が奉仕に繋がる」として、市教育委員会中学生事業参加、納涼家族例会、事業所見学会、新莊RC来訪に歓、送迎、親善来訪歓迎会、地区大会の大会決議案では我がクラブの発言を全面的に受け入れて頂いたこと。台湾、新莊RC40周年記念植樹式参列、新年家族例会は多くのご婦人の参加、産学官の連携で地域創生フォーラム開催、花見例会バス旅行、新莊RC40周年記念式典訪台参加者16名、第2620地区下田RCとも親睦を深め、そして全員参加型IDMは毎回大変多くのメンバーが参加、他クラブ、会員家族から、今年の中津川センターロータリークラブの会報は凄いい、一生懸命ですなえとの声、会員各位の素晴らしい、まさにボトムアップです。何も分からない会長をこの一年支えて頂きました。



### 「ロータリーを考える」からの一年

多治見リバーサイドロータリークラブ  
会長 荒木 康夫

昨年、月一回の次期会長・幹事との「意見交換会」を企画していただき、斎木寛治ガバナー補佐を始め、中津川・瑞浪の会長から、英知を得、暗中模索の中、我ロータリー仲間の助けを受け、各クラブ委員会のエネルギーのある企画や、運営に感動し、一年間を務める事が出来ましたこと、感謝に余りありません。

そんな中、私は「ロータリーを考える」というテーマを念頭に、ウィークリーに「ロータリー手続要覧」を、例会では「ロータリー月間」を取り上げました、そんな中、世界の先駆者のアドバイスや、考えに触れた時、ロータリアンは、まず、「自から考え」自分のたるで何が出来るか、世界のロータリアンの一人として奉仕の心を、育み、関わる中で、ロータリアンとしての誇りと生き方に影響された年はありませんでした。

一年間ご協力ありがとうございました。

# 2016-17年度 クラブ会長挨拶



## 一年間のロータリー活動を振り返って 美濃ロータリークラブ 会長 西村 進

昨年7月に会長職を拝命して、はや10か月が過ぎようとしています。今年度のRI第2600地区釧田ガバナーは「最も出席するもの 最も報いられる」をテーマに、美濃ロータリークラブの会長テーマを「地域と協働」としてスタートしました。9月3日クラブ合同ガバナー公式訪問をホストクラブとして、3月末には3クラブ合同花見例会をホストクラブとして行いました。ガバナー訪問では当クラブの武井さんが90歳以上で、山田さんが30年出席で表彰されました。また当クラブは年2回奥様同伴例会を行っています。7月に「浴衣例会」、12月に「越年例会」。奥様同士の親睦とロータリーへの理解をして頂くのが目的です。今年度地区財団補助金の事業を計画しました。地域の方々にロータリークラブの奉仕活動を理解して頂けたら幸いです。新会員2名の入会がありました。あつという間でしたがとても勉強になった1年でした。ありがとうございました。



## 一年間のロータリー活動を振り返って 各務原ロータリークラブ 会長 小林 幹男

2016年4月17日に飛騨コンベンションホールにて地区研修・協議会に出席してからあつという間の1年間が過ぎました。不安の中の始まりでしたが私は本年度のテーマを(明るく・楽しく・元気よく)をモットーにロータリー会員の増強、会員の例会出席率向上や返信率100%を目指し活動を行って参りました。会員同士の親睦を深めお互いを理解して活動を行えば退会の防止と家族の理解が増すことになると信じています。当期の始め7月には4名のメンバーが新しく加入して頂きました。各務原ロータリークラブは若くて有望な会員ばかりで将来が楽しみです。当年度54期はガバナー補佐を当会から出させて頂き、オーストラリアから留学生の受け入れ、IMの開催等数多くのイベントがある年度でしたが会員の皆様の方で何事もなく無事に勤めさせて頂きました。本当に感謝の一年でした。本年度、地区活動方針テーマは「最も出席するもの 最も報いられる」でした。すべての活動に参加させて頂いて沢山の皆様とお会いできた事にも感謝いたします。



## 1年間のロータリー活動を振り返って 関ロータリークラブ 会長 今峰 徹

今年の関RCのテーマは、「おもいやり」です。この「おもいやり」の精神はRCの理念である親睦・各種奉仕の根底にあり、人の優しさ、和というものに共通するからです。本年度の最大の事業は当クラブの50周年の事業で、全員参加で行われました。平成28年11月27日、社会奉仕の安桜山遊歩道整備事業では、ロータリー財団の地区補助金をいただき、遊歩道の清掃、手すりの再塗装を、後藤会長エレクト、三輪雄彦前幹事が中心になって行いました。平成29年5月21日の記念講演会、記念式典、懇親会、記念誌の制、これらは木村、加藤各委員長、長尾パスト会長、三輪雄彦前幹事を中心に全RC会員が参加し達成しています。これらの事業では、会長の私が入る隙もなく、各会員が自主的に会合をもち素晴らしい結果を残しました。この有能な人材の集合体がRCであり、その一員であることを誇りに思っています。



## ロータリー活動を振り返って 郡上八幡ロータリークラブ 会長 小笠原 正道

2016～2017年度の郡上八幡ロータリークラブの会長ということで、第2630地区の関係各位の皆様には大変お世話になりました。釧田廣喜地区ガバナーは、「最も出席するもの 最も報いられる」を地区活動方針テーマとして掲げられました。ロータリー活動は、例会出席から始まるということを感じながら例会を一年間やってきました。郡上八幡ロータリークラブとしても、出席率は良かったと思います。また、8月には、社会奉仕例会として、慈恵中央病院の夏祭りに全員で参加して、患者の皆さん、職員の方々と郡上おどりを踊って楽しく過ごし、皆様にも喜んで貰えたと思います。3月には、郡上市児童養護施設「合掌苑」に職場例会ということでお邪魔し、施設長様に里親の啓発活動のお話等をお聞きし、施設内の見学をさせて頂きました。これからは、我々クラブと地域が一体となった活動をして行きたいと思っております。

最後に、幹事をはじめ各委員長には積極的に行動して頂き、本当に一年間有難うございました。心から感謝申し上げます。



## 一年間のロータリー活動を振り返って 関中央ロータリークラブ 会長 石原 妙生

今年度、我々クラブは創立40周年を迎える節目の年です。そんな年に会長を仰せつかり、大変なプレッシャーと緊張の中で新年度が始まりました。又、昨年度末に3名の退会が有り「-3」からの出発と、事務局員の交代等、不安のスタートでした。昨年3月に行われた会長エレクト研修で勉強したことを基に、自分なりに考えた事を、会員の皆さんにどう伝えるかを検討しました。その結果、テーマや目標・方針はとにかくわかり易い誰でも理解しやすいものにする事と決めました。

テーマは「ロータリーで何か発見を!」、方針は、地域や会員にわかり易い活動を目指すとし、目標については新会員を3名増としました。とにかく地区の行事や自分のクラブの事業に会員が全員対象として参加できる様呼びかけ、地区大会へは親睦旅行を兼ねた形をとり、事業では我々クラブの柱でもある、環境保全や青少年育成に関連した継続事業は続けて行い、一大イベントの40周年記念事業・式典も会員全員で行う事が出来良かったと思います。新会員も若い方が3名入会して頂き目標が達成出来ました。テーマや方針・目標、事業の実践等、会員皆さんの協力のおかげでした。感謝!後は「タスキ」を無事に次期へ繋げたいと思います。



## 1年間のロータリー活動を振り返って! 郡上長良川ロータリークラブ 会長 山下 誠

それはPETSから始めた1入会以来これというRC活動に力が入ることもなく情性で面倒な事と思いつつ在籍年数を重ねて来た会長エレクトと呼ばれ翌年3月中旬のPETSと云う1日半の研修を受ける事になった。私は郡上長良川RC入会以来、自分の生活優先は譲れない条件であった。出席率に興味が薄れ理解出来なかったし、先輩会員さんの中には失礼ながら若い人を理解しようとはしない人もいて不思議な集休体だ?という思いが強く、ある意味反発していた時期もあった。自分をロータリークラブに誘い入れた人を恨んだこともあった。PETSで出会った東海北陸連合会のAG、次期会長各位と付き合いが始まり、今までの自分には希薄だったRCの世界が深まり進んで来た。特にクラブの現状を考えると、入ってきたも直ぐ諦めていく人達や、RCの綱領を過剰認識する会員など自分の理想とするクラブを求める事は困難なことだと思っていた。幸い、ロータリーの目的は大変意義ある事だと思えばクラブの個性を生かした活動ができる事と、パスト会長連が会長になったら自分のカラーで進める事が大切だと意見を頂き心強くなりました。

2016年7月1日からは、自分が郡上長良川RCの会長であるという事実に身を引き締まる思いで例会に臨みました。今まで例会場では成るべく目立たない様にしていた自分が会長の席に着くという緊張感と不安な気持ちで、身を引き締まる思いであり、初めて聞く点鐘は力加減が解からず、思い切り叩いてしまった。会員の中には「ホー!」と云う声も聞かずしかなかったのですが、今思うとその時の気持ちが一年間を支えた力であったと思います。一番初めに聞いた点鐘の大きな音が私のクラブ運営の大きな基本となり、毎週一回の例会を大切に、一年間に50回に満たない例会での出合いを大切に笑顔と笑い声に溢れた例会、地域社会には郡上長良川RCから「この世を花にするために!」のスローガンを掲げて進めてまいりました。今まで少なかった女性会員も増えつつあり「この世を花にするために!」地域と共に歩む郡上長良川ロータリークラブとして限りない発展を望みながら16～17期の会長の責をさせて頂いた事は感謝の気持ちで一杯です。最後の点鐘は思い切り叩きたいと思っております。



## 1年間のロータリー活動を振り返って 各務原中央ロータリークラブ 会長 小林 茂弘

当クラブは青少年育成にプログラム作成し、下記の活動を致しました。

昨年度、地区補助金を利用して親子陶芸教室を5回行った所、参加者が一回平均20余名ありました。今年度も夏休みの時期に3回行う予定でしたが、申込者が多く4回実施いたしました。作品は、夏休みの工作の作品として出されたお子様も多数おられたようです。

また、今年度も地区補助金を活用し「タッチラグビーフェスティバル」を開催。児童、小、中、高39名と保護者38名応募があり、外部指導員を招き 試合形式でタッチラグビーに参加者全員 心地良い汗をかき、楽しく交流を行う事ができました。

今後も、当クラブは 青少年育成に力を入れていきたいと思っております。



## 一年を振り返って 各務原かかみのロータリークラブ 会長 片岡 紀生

私共クラブは、現在会員10名で運営しています。大変危機的な状況となっています。私が会長を拝命した折は、14名でしたが、やむない理由での現状です。こう言った状態を打破するにはどうしたら良いのか?

理事会及びクラブ内での討論をしつつ例会を行っています。なにが打開策はないか? 段々心がネガティブになってきます。そんな時、ボールハリスが4名でスタートだったとの事を思い、まだまだの気持ちもあります。よってまず1名会員を増やす事。足元を見つめて行くとクラブ員に申し上げています。有難いことに昨年20周年記念事業にて行った各務原市内8中学校吹奏楽部の演奏会を今年7月2日(日)当クラブ主催にて開催致します。この事例を基に地域の皆様に認知戴き、会員増強の契機にしたいと考えています。



**一年を振り返って**  
高山ロータリークラブ  
会長 住 宏夫

私は、会長と地区幹事の2足の草鞋を履いてこの1年間役にあたりました。今年度は、RIの規定が大幅に改定になりロータリーの根本を話し合う機会が多くあったように思います。

当クラブは、昨年60周年を迎え、伝統のあるクラブだと自負しており、先輩たちからのロータリーへの思いを多く聞いてきました。3月2日には3,000回例会では40年前に刊行した「私の職業と地域社会」と題するクラブメンバーの職業への思いを書いた本を復刻してみました。読んでみると職業奉仕に対する考えがしっかりしており、今私たちが如何にあまい考え方をしているか反省させられます。ロータリーの根は、我が職業にありということを今一度確認できた一年だったと思います。



**2016～2017年度ロータリー活動を振り返って**  
下呂ロータリークラブ  
会長 井上 一徳

当クラブの伝統的な活動として受け継がれてきたインターアクトクラブへの支援、青少年交換事業では、地元高校並びにホストファミリーの方々にも相変わらずのご協力を頂き遂行できました。今期新たな試みとして「地域で減塩に取り組む」事業を立ち上げ、行政や医療関係、地元小学校、PTAなど多くの方々の協力を得て実行できました。なによりも前年度から新たに加わった5名の新会員を含め、全会員が一丸となって取り組んでいた事が、ロータリー活動の地域へのアピールにもつながりました。関係各位、会員の皆様にご心より感謝し、今後のクラブの発展に役立てることが出来れば幸いです。自らの成長も含め充実した一年、ありがとうございました。



**一年間のロータリー活動を振り返って**  
高山西ロータリークラブ  
会長 井辺 一章

会長就任にあたりクラブ目標として2点を挙げました。

1.出席率の向上

一年間に何回の100%出席が出来るか

2.会員増強

一人でも多くの仲間を集めよう

昨年度クラブ発足50周年をむかえ、それを機に退会された方が何人も出てどうなる事かと心配を致しました。退会された方々の息子さん等への入会勧誘に力を入れ、また各委員長がそれぞれ活動を頑張ってくれたおかげで、会員も減らず次年度へ引き継ぐことが出来安堵しています。



**一年間のロータリー活動を振り返って**  
美濃加茂ロータリークラブ  
会長 高井 文洋

会長を拝命し、「PETS」「地区研修協議会」等セミナーを受け、7月1日(私の55歳誕生日)に緊張感を持って点鐘をしたのを昨日のように思います。本年度美濃加茂ロータリークラブはCLP導入に伴うクラブ規約改正や委員会構成の改編など大きな改革を迎えました。そして、今年11月にはクラブ創立50周年を迎えます。半世紀に渡るクラブ運営の一年間ではありますが舵取りに携われた事を誇りに思います。本年度の4つの大きな活動目標については、①会員増強10%アップ<達成>②財団寄付\$150<達成>③実りある職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕の実践<ほぼ達成>④クラブ創立50周年準備<遂行中>と全項目を全会員の協力のもと成し遂げることが出来ました。ありがとうございました。



**一年間のロータリー活動を振り返って**  
可児ロータリークラブ  
会長 奥村 幸夫

今年の方針事業活動に会員の協力とご理解に感謝します。

規定審議会の改訂に伴い、会員の理解を得てRCの柔軟性を取り入れ、例会数の変更をして計画を策定しました。概ね良かったと感じております。今年はIMの開催と、ジュニアゴルフスクールの開催の為、前期より委員会を重ねた結果、成功裏に開催出来ました。ゴルフ協会との共催で、今後継続事業として来期も開催予定であり、これも過去に可児RCがこの事業を開催した成果であります。また今年IGMを例会として行い、より親睦も深める事が出来ました。増強も入金金免除、例会数と入会しやすい環境にしました。

増強成果は有りましたが、充分ではありませんでした。今後に期待をしております。



**一年間のロータリー活動を振り返って**  
可茂ロータリークラブ  
会長 奥村 哲

可茂RCの会員数は、濃飛グループのなかで最も少なく、今年度は14名でスタートしました。クラブの財政が厳しく、奉仕活動に充填できる予算も限られ、喫緊の課題は会員基盤の強化でありました。そこで今期の会長テーマとして「会員基盤の早急な強化と、効率の良い奉仕プロジェクトの実践」といたしました。4月24日の時点で、会員数は1増2減で13人です。今年度も残り2か月余りとなり、会員の意識を高揚し、会員増強に全力を傾注したいと思っています。

奉仕活動に関しては、国際奉仕・社会奉仕・職業奉仕・青少年奉仕のいずれも、予定していたプロジェクトを順調に執り行うことできています。



**一年間のロータリー活動を振り返って**  
高山中央ロータリークラブ  
会長 田中 雅昭

本年度はまさしく当クラブにとって、歴史に残る一年であったと思います。ガバナー輩出クラブとして、思い出深き有意義な地区大会が盛大に開催でき、あらためて会員の底力を垣間見ることが出来ました。またRI会長賞項目を活動計画に盛り込み、会長賞受賞に向け活動できたことは、長期戦略活動の一環として10数年根づいており、クラブの活性化に寄与していると確信しております。青少年育成の為の「出前講座」開催や、地区補助金を利用しての「親子もの作り教室」も、市内小学生児童を高山工業高校生の協力指導のもと開催でき感謝しております。クラブがより一層魅力あるクラブへと躍進することを願って…

「情熱と友情そして…永久に」ありがとうございました。





## 文庫通信 356号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### ● 最近のロータリー情報から ●

◎ 「ロータリーと茶の心」	千 玄室	D.2690地区大会記念誌	2017	4p
◎ 「日本ロータリーの昔話4～7」 (純ちゃんのコーナーPartXV)	深川 純一	伊丹R.C.	2016	4p
◎ 「日本のロータリアンの使命」	塚原 房樹	D.2510月信	2016	2p
◎ 「ロータリー会員から真のロータリアンへの進化」	三木 明	D.2680月信	2016	1p
◎ 「ロータリアンにとって『職業奉仕』とは」	藤林 豊明	D.2580地区大会記念誌	2016	2p
◎ 「ロータリーの魅力とは何だろう」	富田 英壽	D.2700月信	2017	2p
◎ 「RIの向かっている道(三つの側面を通して)」	桑月 心	D.2630月信	2017	2p
◎ 「今までの100年・そして現在」	久世 晴雅	D.2680地区大会記録誌	2016	4p
◎ 「会員を引き込む」	RLI日本支部	RLI参加者テキスト	2015	3p
◎ 「ロータリー財団を正しく理解する」	鈴木 一作		2016	5p

〔上記申込先：ロータリー文庫〕

### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506  
http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

## 米山梅吉記念館便り

### シリーズ 10 米山梅吉の横顔

米山梅吉は、大正6年(49歳)に目賀田種太郎委員長の政府特派財政経済委員に任命されました。一行はサンフランシスコ到着後、セントルイス、シカゴ、ニューヨーク、ワシントンなどで、朝野の要人と交流をかさねましたが、米山は一人「南方に旅行し日米綿花に関し将来の発展に就き取調べをなしたること」のためにグラスに向かい、大正7年の元旦を福島喜三次と共にしました。福島家のサイン帳には「はからずも御親切になり此地に新年を迎へ候を永く記念すべく候 大正7年1月元旦 米山梅吉」と記され、俳句3首を残しています。福島は当時グラスRC会員でしたから、ロータリーの話もしたのではないかと推測されています。



帰国後大正天皇に拝謁、下賜された金杯

### 米山梅吉記念館のホームページが新しくなりました。

米山梅吉に関する年表や人物像などの記述を充実させました。2019年には記念館創立50周年を迎えますので、その記念事業の一環としてリニューアルしたものです。ぜひご覧ください。

### 公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1  
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101  
URL <http://yoneyama-umekichi.jp>  
Email:yumh@ai.tnc.ne.jp

〔開館時間〕午前10時～午後4時  
〔休館日〕月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)



### 米山梅吉関連図書の紹介



B5判 記念館35周年記念誌  
本文268ページ/2,500円

#### 米山梅吉の聲音 記念館刊

米山梅吉の「生い立ちと人となり」「ロータリーとのかかわり」「記念館の歴史」などが詳細に解説されています。

資料編としては、米山梅吉の会議や大会での挨拶や講演、ロータリー月報やラジオ放送の内容なども掲載。記念館所蔵の図書目録、年表など網羅されています。

# 国際ロータリー 第2630地区 出席報告

2017年4月分

グループ	クラブ	出席率	例会数	期末	会員数			
					期首	月末	うち女性	増減
桑名	桑名	96.50	4	43	43	43	0	0
	桑名西	84.03	4	35	35	36	0	1
	桑名中央	77.58	4	30	31	29	2	-2
	桑名北	85.71	4	34	34	35	10	1
	グループ計(4)	85.96		142	143	143	12	0
四日市	四日市	96.74	4	96	96	94	0	-2
	四日市北	83.87	4	20	20	22	5	2
	四日市西	94.70	4	57	57	66	4	9
	四日市南	82.17	4	33	33	33	2	0
	四日市東	100.00	4	40	40	42	1	2
	グループ計(5)	91.50		246	246	257	12	11
鈴鹿・亀山	鈴鹿	75.00	4	58	58	63	10	5
	鈴鹿西	76.89	4	41	41	43	8	2
	鈴鹿ベイ	96.67	5	12	12	12	0	0
	亀山	64.10	5	16	16	15	0	-1
	鈴鹿シティ	82.19	5	64	64	64	4	0
	グループ計(5)	78.97		191	191	197	22	6
中勢・伊賀	津	93.64	4	59	59	59	0	0
	上野	99.26	4	36	36	36	0	0
	名張	94.94	4	35	35	36	0	1
	津南	95.89	4	48	48	50	1	2
	津北	86.79	4	43	43	43	4	0
	上野東	100.00	4	36	36	34	0	-2
	久居	96.15	3	32	32	28	0	-4
	名張中央	85.95	4	24	24	24	1	0
	グループ計(8)	94.08		313	313	310	6	-3
松阪・東紀州	松阪	83.56	4	71	71	73	0	2
	松阪東	81.57	4	59	59	56	12	-3
	熊野	59.72	4	33	34	36	4	2
	尾鷲	63.88	4	12	12	12	2	0
	松阪山桜	70.27	3	36	36	37	4	1
	グループ計(5)	71.80		211	212	214	22	2
伊勢・鳥羽・志摩	伊勢	87.34	3	60	60	60	0	0
	鳥羽	83.05	4	35	35	35	4	0
	伊勢南	96.37	3	39	39	39	0	0
	志摩	83.45	4	46	46	45	11	-1
	伊勢中央	95.59	4	49	49	49	0	0
	伊勢度会	100.00	4	13	13	14	3	1
グループ計(6)	90.97		242	242	242	18	0	
三重県合計(33)	86.47		1,345	1,347	1,363	92	16	

## ■2016年4月(前年度)出席報告

	出席率	期首	月末	うち女性	増減
三重県合計(33)	86.90	1,337	1,368	84	31
岐阜県合計(45)	83.52	1,727	1,784	52	57
地区合計(78)	84.95	3,064	3,152	136	88

(注)グループ、県、地区の出席率は全てクラブ数で計算した。

グループ	クラブ	出席率	例会数	期末	会員数			
					期首	月末	うち女性	増減
岐阜A	岐阜卓	87.86	4	84	86	89	1	3
	岐阜卓西	87.11	4	54	54	52	0	-2
	岐阜卓長良川	91.86	4	55	55	53	0	-2
	岐阜卓北	96.67	4	31	31	30	2	-1
	岐阜卓中	68.33	4	30	30	30	1	0
	グループ計(5)	86.37		254	256	254	4	-2
岐阜B	岐阜卓南	85.48	4	80	80	100	6	20
	岐阜卓東	77.90	4	52	52	50	1	-2
	岐阜卓東南	81.72	4	38	38	38	0	0
	岐阜卓加納	82.27	3	59	59	59	0	0
	岐阜卓エトス	67.92	4	16	16	17	2	1
	岐阜卓城	83.33	4	18	18	18	0	0
	岐阜卓中山道	96.30	3	10	10	10	2	0
グループ計(7)	82.13		273	273	292	11	19	
岐阜西濃	大垣	83.35	3	85	85	88	0	3
	大垣西	89.67	4	79	79	80	0	1
	本巣	91.51	4	31	31	28	0	-3
	羽島	91.23	4	28	28	28	3	0
	不破	85.28	4	37	37	36	0	-1
	大垣中	80.48	4	39	39	39	0	0
	大垣センチュリー	76.36	4	50	50	51	1	1
	岐阜卓淡墨	89.29	4	14	14	14	1	0
	岐阜卓サンリバー	91.18	4	18	18	19	4	1
	グループ計(9)	86.48		381	381	383	9	2
岐阜東濃	多治見	83.84	4	47	47	50	3	3
	中津川	90.48	3	71	71	74	2	3
	瑞浪	91.38	3	57	57	58	0	1
	恵那	93.60	4	34	34	34	0	0
	土岐	87.00	4	40	40	41	1	1
	多治見西	80.11	4	38	38	37	4	-1
	中津川センター	75.53	4	43	43	47	0	4
	多治見リバーサイド	84.87	4	36	36	38	1	2
	グループ計(8)	85.85		366	366	379	11	13
東海北陸道	美濃	73.66	3	31	31	30	1	-1
	各務原	57.87	4	20	20	24	0	4
	関	89.27	3	46	46	45	2	-1
	郡上八幡	100.00	4	38	38	39	0	1
	関中央	86.67	3	29	29	32	0	3
	郡上長良川	88.89	4	24	25	27	4	2
	各務原中央	62.31	4	29	29	29	2	0
	各務原かかみの	99.45	4	13	13	10	2	-3
	グループ計(8)	82.27		230	231	236	11	5
	濃飛	高山	86.12	3	39	39	42	0
下呂		85.23	4	20	20	22	0	2
高山西		88.03	3	39	39	39	0	0
美濃加茂		88.00	4	28	29	34	4	5
可児		91.95	3	27	27	29	0	2
可児茂		85.44	4	14	14	13	4	-1
高山中央		84.49	3	56	56	59	4	3
グループ計(7)	87.04		223	224	238	12	14	
岐阜県合計(44)	84.98		1,727	1,731	1,782	58	51	
地区合計(77)	85.62		3,072	3,078	3,145	150	67	

# 会員動静報告 (敬称略)

2017年4月分

受章	入会会員									
松阪RC	四日市北RC	四日市西RC	鈴鹿RC	津RC	松阪RC	熊野RC	伊勢中央RC	岐阜長良川RC	岐阜南RC	本巣RC
										
辻 保彦 旭日単光章	長谷川幸代 2017.4.4入会 保険代理業	上田 浩 2017.4.7入会 損害保険	荻野 晃 2017.4.9入会 土木工事	葛西豊一 2017.4.5入会 商工会議所	西谷春樹 2017.4.12入会 工業ゴム製品	中西政貴 2017.4.13入会 信用金庫	樋口雅寿 2017.4.21入会 ソフトウェア開発	西松昭人 2017.4.8入会 土木工事	小木曾琢也 2017.4.6入会 民事弁護士	大野正博 2017.4.4入会 大学

多治見RC	中津川RC	瑞浪RC	関RC	郡上八幡RC	高山RC
					
曾根敏治 2017.4.5入会 自動車配布	木村倫典 2017.4.20入会 証券業	今井俊久 2017.4.7入会 土木建設	福本司朗 2017.4.11入会 刃物製造	奥村芳弘 2017.4.6入会 電気通信事業	鉦 勇貴 2017.4.6入会 建築業

5月号訂正  
2017年3月分入会会員職業分類訂正  
大島靖生(多治見RC)  
(誤)自動車配布→(正)電気工事

退会会員			
所属クラブ	氏名	性別	退会年月日
四日市南RC	伊藤 富夫	男	2017.4.7
津RC	二見 浩之	男	2017.4.30
上野東RC	角田 裕彦	男	2017.4.16
伊勢南RC	大瀬良修司	男	2017.3.31
岐阜南RC	河村 信	男	2017.4.13
多治見RC	鈴木 通裕	男	2017.4.12
中津川RC	正野 知義	男	2017.4.20
瑞浪RC	新井 清雄	男	2017.4.7
美濃RC	武藤 嘉明	男	2017.4.21
可茂RC	勝川 優	男	2017.4.28

逝去会員 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

岐阜加納RC	多治見西RC
	
澤田宣雄 1980.12.5入会 2017.4.2逝去 マルチプルボールハリス フェロー 米山功労者	佐々英夫 1980.2.7入会 2017.4.30逝去 2010-2011年度副会長 マルチプルボールハリス フェロー 米山功労者

## ちょっと一息



あれもうー  
はえむし!!

訳：「ああもう～ ハエ!!!」

— 大森貴絵 作 —

## 編集後記

劔田ガバナー月信も6月号で最終となりました。ご寄稿いただきましたロータリアンの皆様、色々とお世話をおかけしました。

ガバナー月信の表題を書いていただきました加賀修パストガバナー様、それぞれの月にあった綺麗な表紙絵と「ひだのこぼ」の挿絵を提供いただきました大森貴絵様には、感謝申し上げます。

劔田ガバナーのこぼを引用して「最も月信を読む者、最も報いられる」とまではいかなかったですが、地区内の活動が少しでも伝わる事ができたなら幸いです。

引き続きガバナー月信のご愛読をよろしくお願い致します。一年間ありがとうございました。

2016-17年度ガバナー月信担当  
地区幹事 松之木映一(高山中央RC)

## 事業活動報告

### 鈴鹿・亀山グループロータリーデー開催（ポリオ撲滅募金活動）

2017年4月1日(土) 10:00～16:00 於：旭化成鈴鹿工場・鈴鹿さくら祭り会場

私ども国際ロータリー第2630地区、鈴鹿・亀山グループは、鈴鹿さくら祭り会場にて、ロータリーデーを開催致しました。当日は前日から雨が降り、朝からは小雨となりましたが、会場は、桜も3分さきでありお客様がいない中でのスタートとなりました。

しかし、私達ロータリーは会場の一角にロータリーデー専用のテントを設置し、ポリオ撲滅のパネル展示、ポリオ撲滅募金箱の設置の他、市民の皆様にもロータリーの認知度向上PR、ポリオの説明、募金のお願い等を行い、大変意義ある一日となりました。

当日は青木ガバナー補佐をはじめ各ロータリークラブより34名のロータリアン、グループ内インターアクト・ローターアクト26名(担当教師含む)、多数のロータリー関係者が集まり、リレー式にて会場内至る所で募金活動を行いました。同時にポリオPR入りポケットティッシュ約8,000ケも配布したことで、ロータリーやポリオ撲滅を身近に感じて頂けたと思います。

今回のロータリーデーは、地域の皆様、ロータリークラブ、インターアクトクラブ、ローターアクトクラブの五つが協力してできた結果であり、素晴らしい事業ができ、雨の中この事業にご協力頂きました皆様には感謝の気持ちでいっぱいでございます。誠に有り難うございました。

また、当日のポリオ撲滅募金 合計117,547円は、参加5クラブに分配され、各クラブよりポリオ・プラス募金として寄付致します。

鈴鹿・亀山グループ・ロータリーデー実行委員会  
ガバナー補佐 青木 啓文（鈴鹿シティRC）  
国際奉仕グループリーダー 岡村 信之（鈴鹿シティRC）



## 『街のコンシェルジュ』を目指して 私たち、飛驒信用組合 は地域に根差した金融機関です。



ひだしんの取り組み

#### クラウドファンディング



平成28年度までに

**24 / 27** 案件

のプロジェクトが資金の調達に成功

金額：**11,880** 千円

支援者：**1,598** 人

#### よろず相談窓口



平成28年度までに

**778** 件の相談対応

しんちゃん♡くみちゃん



#### 地域活性化ファンド



**376,000** 千円

の投資を実行



ひだしん HP ←

飛驒信用組合 〒509-0009 岐阜県高山市花岡町1丁目13番地1 TEL:0577-32-4527

### 2016-2017年度 地区事務所・ガバナー事務所・地区大会事務局 案内

各地区委員会への連絡・問い合わせ	地区事務所	〒500-8212 岐阜県岐阜市日野南3丁目5-16 TEL 058-248-9724 FAX 058-248-9725 E-mail branch@rid2630.org	執務時間 9:30~17:30 (土・日・祝日 休務)
ガバナー・ガバナーエレクト・ガバナーミニー ガバナー補佐・地区幹事への連絡・問い合わせ	ガバナー事務所	〒506-0011 岐阜県高山市本町1-2 飛驒信用組合本町サテライト出張所3F TEL 0577-33-2630 FAX 0577-33-2635 E-mail 1617@rid2630.org	執務時間 9:30~16:00 (土・日・祝日 休務)